

都市における人の動き

— 平成 17 年全国都市交通特性調査集計結果 2 —

平成 20 年 3 月

国土交通省 都市・地域整備局

都市計画課 都市交通調査室

全国都市交通特性調査

はじめに

「全国都市交通特性調査」は、全国の都市において、人々が、どのような目的で移動しているか、どのような交通手段を利用しているかなど、人の動きからみた交通実態を調査するものです。

全国の都市の状況を把握するため、62都市を抽出して、1都市当たり500世帯を対象に調査して、約3万2千世帯から回答をいただきました。これらを、都市規模別に集計するとともに、個人属性等で区分して加重平均した結果をもとに、全国の都市の数値を推計しています。

過去、昭和62年、平成4年、平成11年の3回調査（「全国都市パーソントリップ調査」の名称で実施）しており、今回は第4回目の調査になります。また、初めて町村（60町村）も対象に加えて、全国の都市交通特性を把握できるようにしました。すでに、基礎集計した結果をパンフレット「都市における人の動き」としてとりまとめ公表しております。

<http://www.mlit.go.jp/crd/tosiko/zpt/index.html>

今般、引き続き、分析を行った結果をとりまとめましたので公表致します。

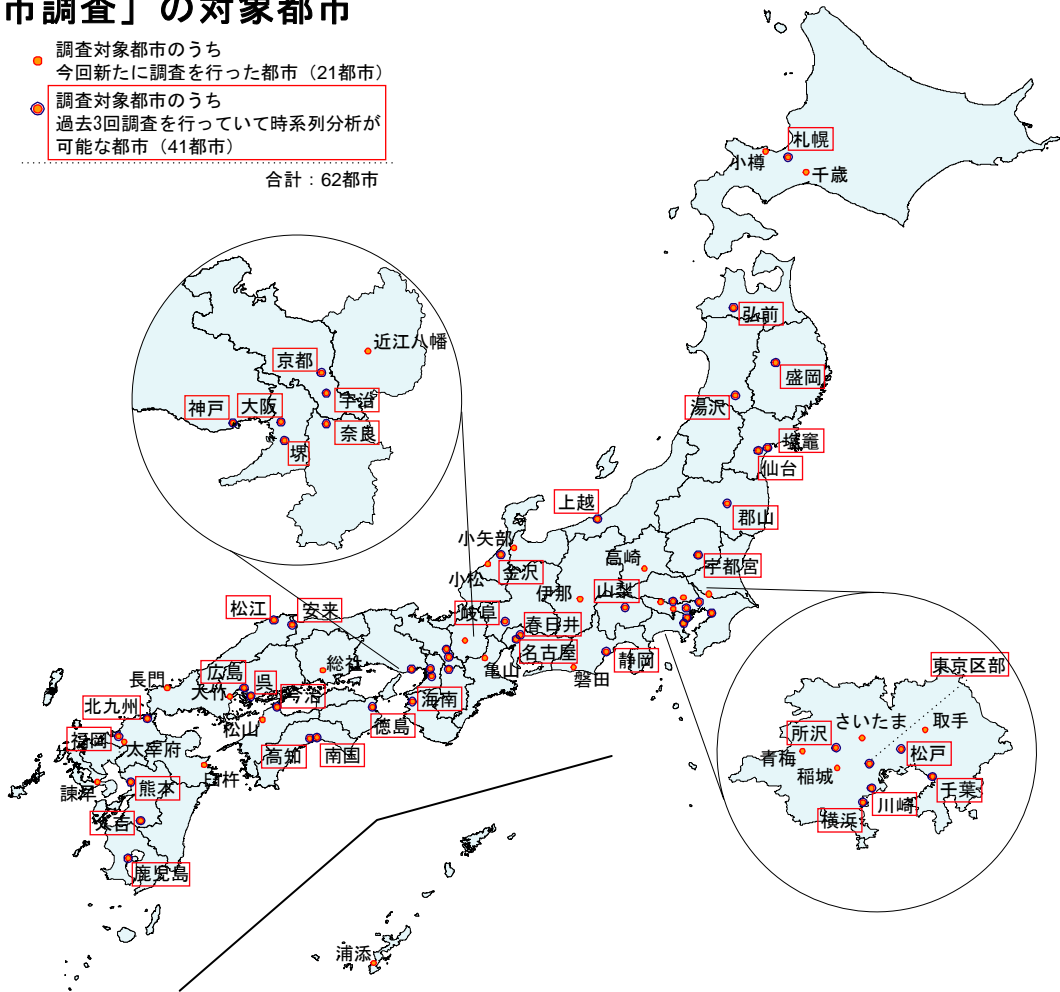
目次

調査の概要	1
1. 男女別の交通行動特性分析	3
2. 高齢者の交通行動特性分析	9
【意識調査の集計結果】	
3. 高齢者と自動車利用	13
4. 地球環境と自動車利用	18
5. 居住地選択	19
参考：交通実態調査票（世帯票・個人票）	21
：意識調査票（A票・B票）	23

■調査の概要

「都市調査」の対象都市

- 調査対象都市のうち
今回新たに調査を行った都市 (21都市)
 - 調査対象都市のうち
過去3回調査を行っていて時系列分析が
可能な都市 (41都市)
- 合計：62都市



○ 類型別調査対象都市

都市類型		調査対象都市	
a	三大都市圏	中心都市	さいたま市、千葉市、東京区部、横浜市、川崎市 名古屋市、京都市、大阪市、神戸市
b		周辺都市※1	取手市、所沢市、松戸市、稲城市、堺市、奈良市
c		周辺都市※2	青梅市、岐阜市、春日井市、亀山市、近江八幡市、宇治市
d	地方中枢都市圏	中心都市	札幌市、仙台市、広島市、北九州市、福岡市
e		周辺都市	小樽市、千歳市、塩竈市、呉市、大竹市、太宰府市
f	地方中核都市圏 (中心都市40万人以上)	中心都市	宇都宮市、金沢市、静岡市、松山市、熊本市、鹿児島市
g		周辺都市	小矢部市、小松市、磐田市、総社市、諫早市、臼杵市
h	地方中核都市圏 (中心都市40万人未満)	中心都市	弘前市、盛岡市、郡山市、松江市、徳島市、高知市
i		周辺都市	高崎市、山梨市、海南市、安来市、南国市、浦添市
j	地方中心都市圏 その他の都市	—	湯沢市、伊那市、上越市、長門市、今治市、人吉市

注) 三大都市圏の周辺都市は、以下の定義で都市類型 b と都市類型 c に分けている。

	中心からの距離		
	都市圏		
	東京	京阪神	中京
※1 都市類型b	40km未満	30km未満	-
※2 都市類型c	40km以上	30km以上	全域

調査の目的

全国都市交通特性調査は、交通の主体である人（パーソン）の動き（トリップ）を調査することにより、全国の都市及び町村で、どのような人がどのような目的、交通手段で動いたかについて、調査日1日のすべての動きを捉えるものです。

今回の調査は、全国の都市と町村の交通実態を捉えるとともに、過去の調査とあわせて、交通実態の変化を把握することを目的としています。

調査の対象

○都市調査：平成17年の調査対象都市は62都市です。調査の対象者は、調査対象都市に居住する、各都市500世帯の5才以上の人です。

○町村調査：調査対象町村は60町村です。調査の対象者は、調査対象町村に居住する、各町村50世帯の5歳以上の人です。

調査時期

調査対象日は、平成17年の10月、11月の平日・休日の各1日です。調査をこの時期にしたのは、都市圏パーソントリップ調査同様、1年の中の平均的な

交通特性を把握するためです。平日は火、水、木曜日のいずれか、休日は連休となっていない日曜日を対象としました。

調査内容

○本冊子の最後に掲載している調査票により、1日の行動内容について調査しています。さらに、都市調査の対象都市において、今後の施策の参考となる事項についても「都市交通に関する意識調査」としてアンケート調査を実施しました。（意識調査はA、B票2種類のいずれかを配布・回答）

調査の方法

○都市調査：住民基本台帳から抽出した世帯に対し、調査員が家庭を訪問して調査を依頼し、後日再訪問して調査票を回収しました。

○町村調査：住民基本台帳から抽出した世帯に対して、調査票を郵送して調査を依頼し、郵送によって調査票を返送していただきました。

データ処理について

サンプル調査であることから、サンプルの特性に偏りがみられるため、個人属性等で加重平均をして

用語の説明

○トリップ

人がある目的をもってある地点からある地点へ移動した単位をトリップといい、目的が変わるごとにトリップもかわります。1回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても1トリップと数えます。目的が変わると2番目のトリップとなります。

○1人あたりトリップ数

ある人が1日のうちで目的を持って動く回数。

- ・グロス集計
1人あたりトリップ数について調査対象者総数(外出者+非外出者)1人あたりでみたもの。
- ・ネット集計
1人あたりトリップ数について外出者1人あたりでみたもの。

○1トリップあたりの所要時間（平均トリップ長）

1トリップに要する所要時間または移動距離の平均。

○目的の種類

人が移動するときの目的をさします。本冊子で用いている目的は次のような内容になっています。

通勤：自宅から勤務先へ

通学：自宅から通学先へ

業務：自宅から業務先へ

勤務先から業務先へ

業務先から勤務先へ

業務先から業務先へ

私事：買物等の上記以外の目的

帰宅：自宅へ

○代表交通手段

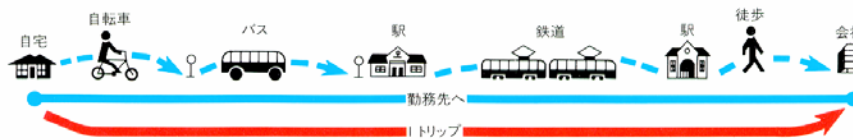
1つのトリップがいくつかの交通手段で成り立っているとき、このトリップで利用した主な交通手段を「代表交通手段」といいます。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪車→徒歩の順となっています。下図のトリップの例では、鉄道が代表交通手段となります。

本冊子での交通手段は「代表交通手段」をさします。

鉄道は、JR、私鉄、地下鉄、路面電車、モノレール、新交通システムをさします。

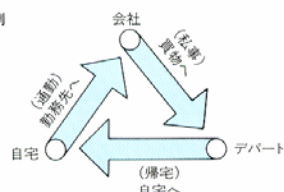
なお、本冊子では、交通手段別のトリップ数の割合を「利用率」と表現しています。（交通手段別のトリップ数の割合は「分担率」「交通手段構成比」などと表現することもあります）。

トリップの例

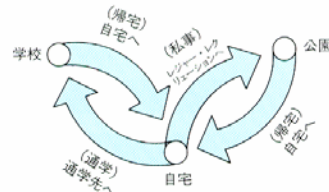


1日の動き

■サラリーマンの例
(3トリップ)



■子供の例
(4トリップ)



1. は 41 都市の集計

(昭和 62 年、平成 4 年、平成 11 年、平成 17 年の 4 時点での比較)

1. 男女別の交通行動特性分析

[1] 男性のトリップ原単位

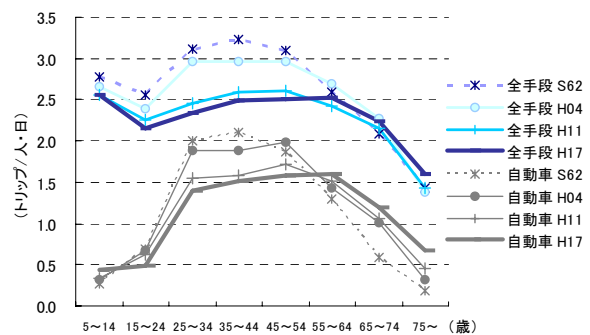
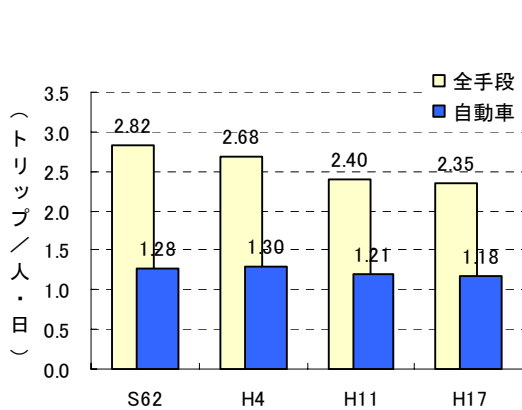
全国の男性のトリップ原単位は、平日 2.35 です。

このトリップ原単位は経年的に減少してきましたが、近年下げ止まる傾向です。

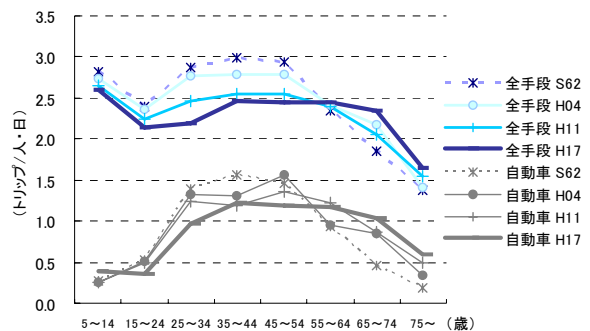
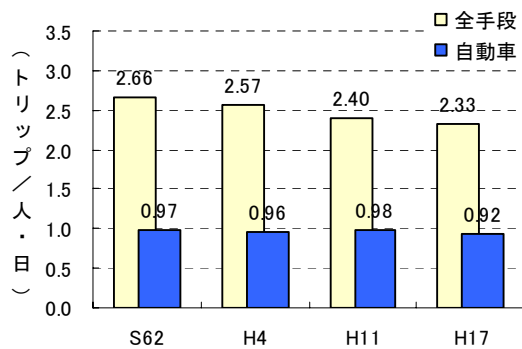
- 全国の男性の自動車原単位は、S62 から H4 で 1.01 倍、H4 から H11 で 0.93 倍、H11 から H17 で 0.98 倍となっています。
- 自動車の利用は、全国の男性の 54 歳以下で、経年的に減少しています。
- 男性は、三大都市圏・地方都市圏とも 54 歳以下で、トリップ原単位が自動車利用も含めて減少していましたが、近年下げ止まる傾向です。

男性のトリップ原単位 (トリップ数/人・日)

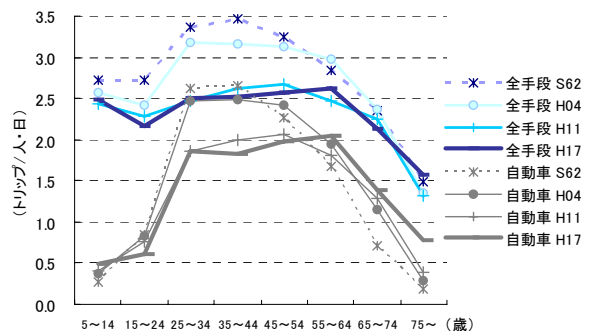
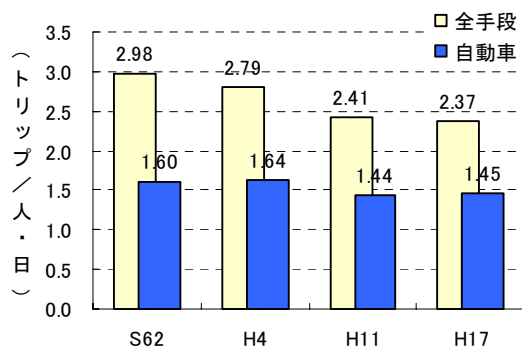
男性 (平日)



三大都市圏



地方都市圏

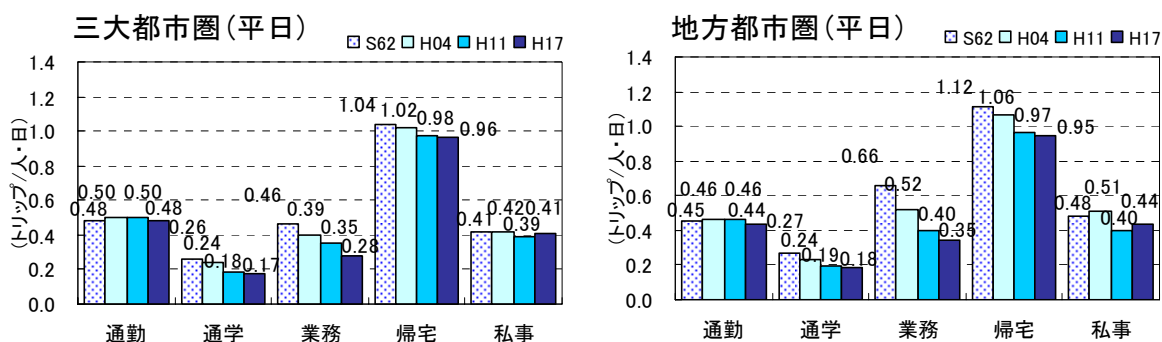


[1] 男性のトリップ原単位

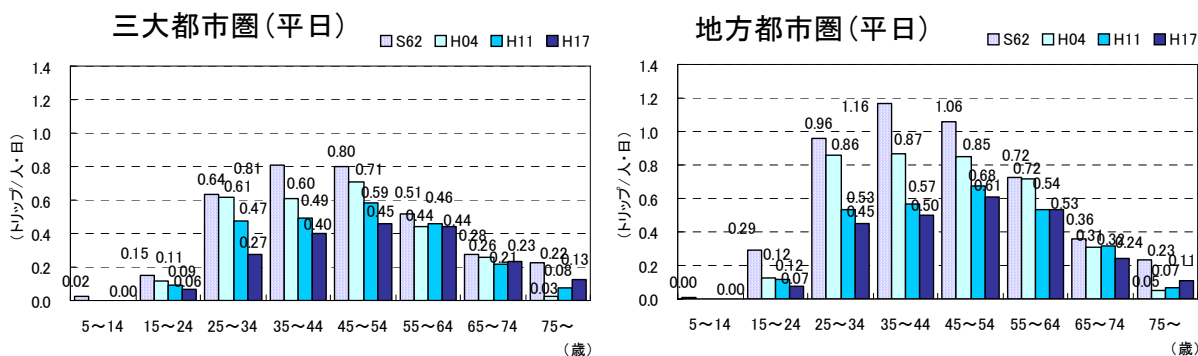
トリップ原単位は、通学・業務において経年的な減少が続いています。特に、業務目的の減少が目立っています。

- 業務目的を年齢階層別にみると、25～54歳の年齢階層において減少しています。
- 業務目的の内容を詳細に分類した項目でみると「販売・配達・仕入・購入先」、「打ち合わせ・会議・集金・往診」の目的が大きく減少しています。

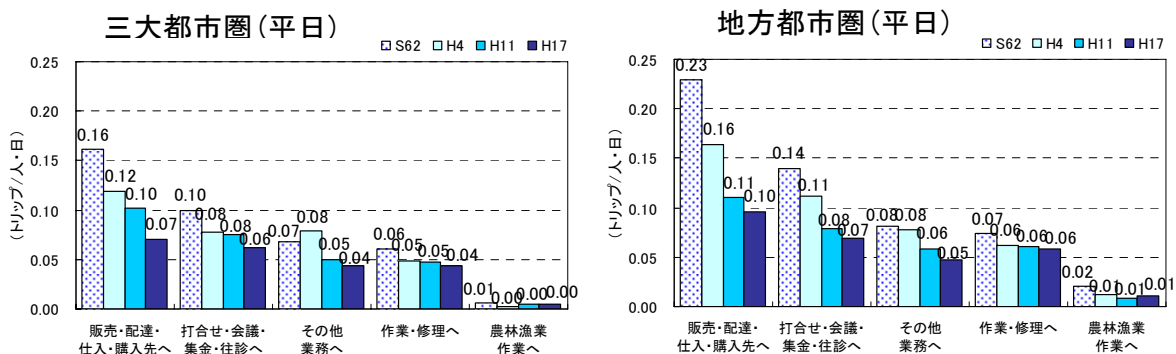
男性・目的別トリップ原単位（全手段）（トリップ数/人・日）



男性・年齢階層別業務目的トリップ原単位（全手段）（トリップ数/人・日）



男性・業務(細分類)目的トリップ原単位（全手段）（トリップ数/人・日）



[2] 女性のトリップ原単位

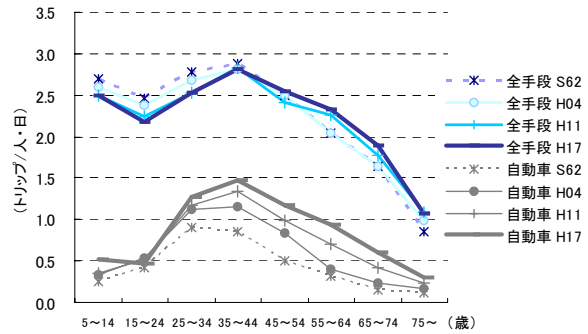
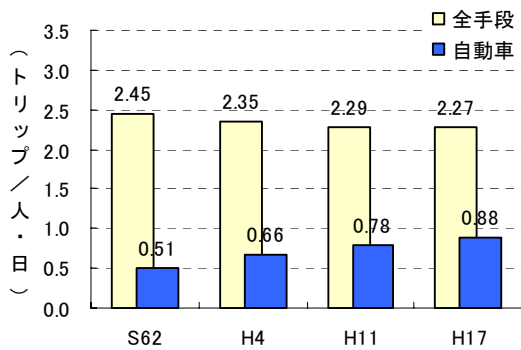
女性については、自動車利用のトリップ原単位が、三大都市圏においては微増傾向、地方都市圏においては大きく増加傾向にあります。

- 全国の女性の自動車原単位は、S62 から H4 で 1.31 倍、H4 から H11 で 1.18 倍、H11 から H17 で 1.13 倍となっています。
- 三大都市圏・地方都市圏ともに 25 歳以上で、自動車利用のトリップ原単位が増加しています。
- 三大都市圏のトリップ原単位は減少傾向ですが、地方都市圏のトリップ原単位は、平成 11 年から平成 17 年において、微増しました。

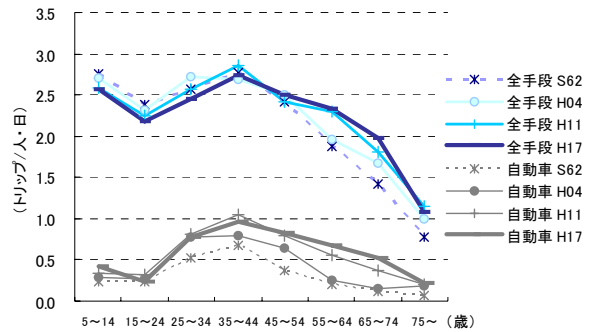
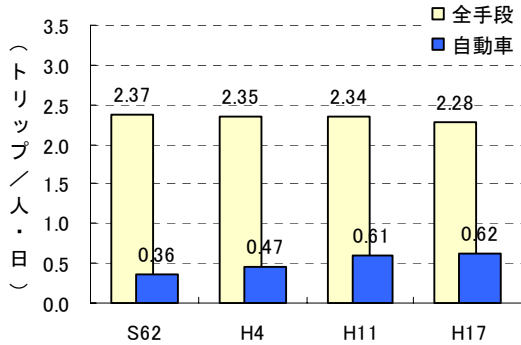
女性のトリップ原単位 (トリップ数/人・日)

女性 (平日)

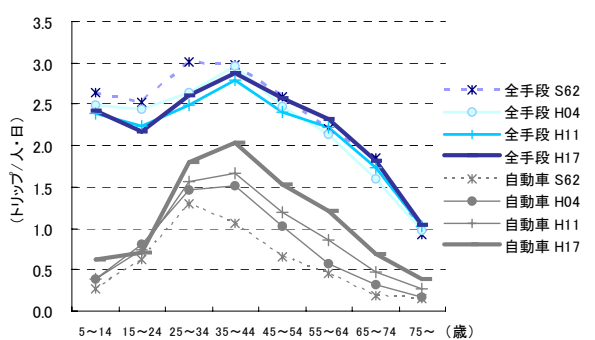
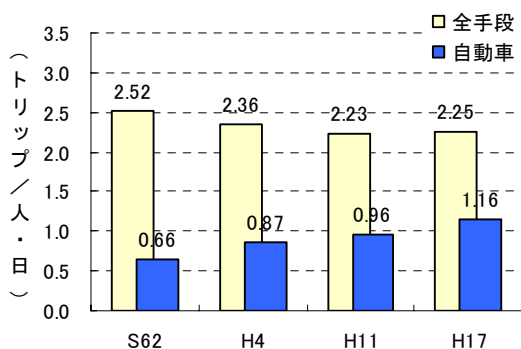
全国



三大都市圏



地方都市圏

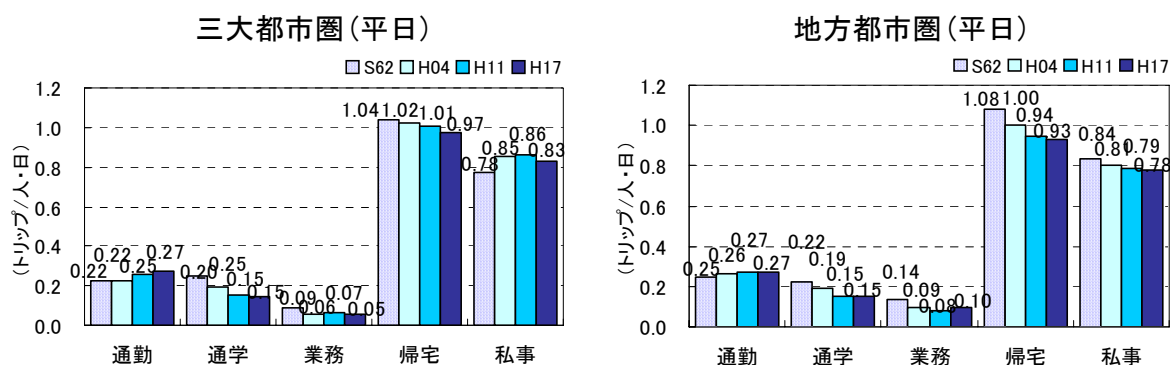


[2] 女性のトリップ原単位

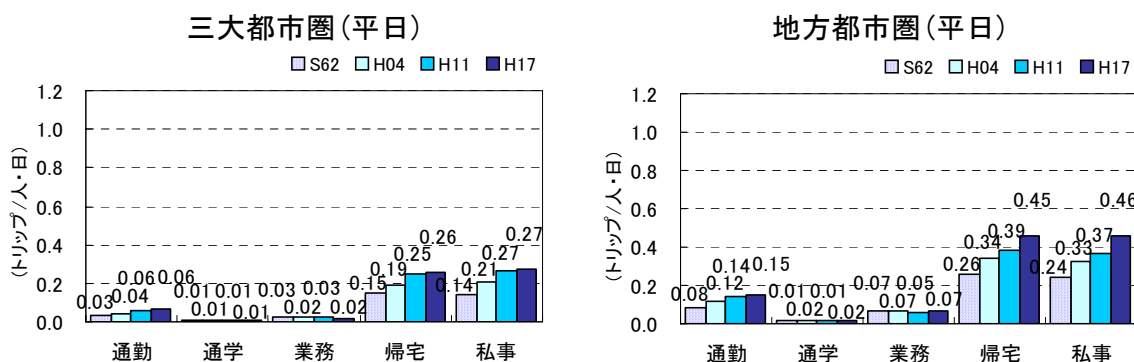
女性のトリップ原単位を目的別にみると、三大都市圏で通勤目的のトリップ原単位が微増している以外は、微減もしくは横ばいとなっています。

- 三大都市圏・地方都市圏ともに私事目的の自動車原単位が増加しています。
- 私事目的の内容を詳細に分類した項目でみると、三大都市圏・地方都市圏とも、「買物」「その他私用」を目的とする自動車のトリップ原単位が増加しています。

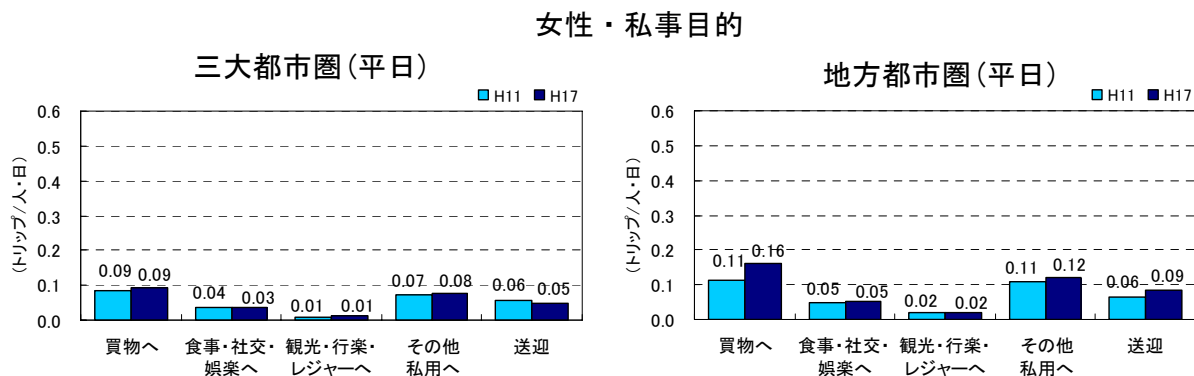
女性・目的別トリップ原単位（全手段）（トリップ数/人・日）



女性・目的別トリップ原単位（自動車）（トリップ数/人・日）



女性・私事(細分類)目的トリップ原単位（自動車）（トリップ数/人・日）

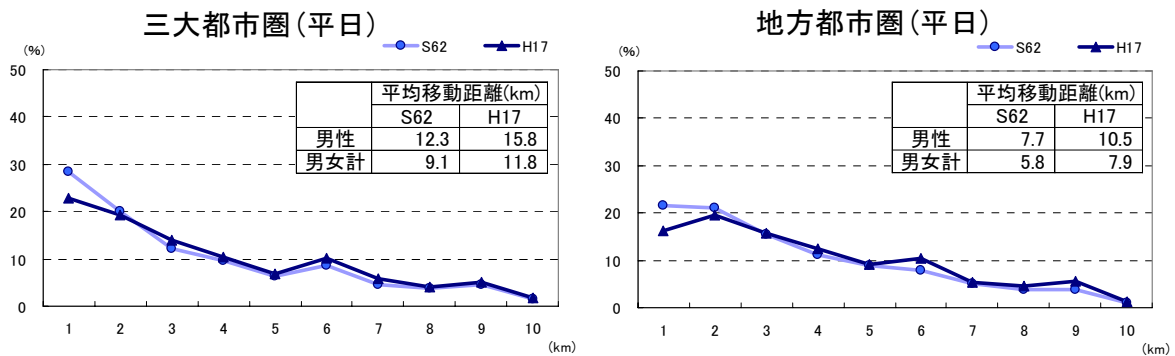


[3] 男性のトリップ長

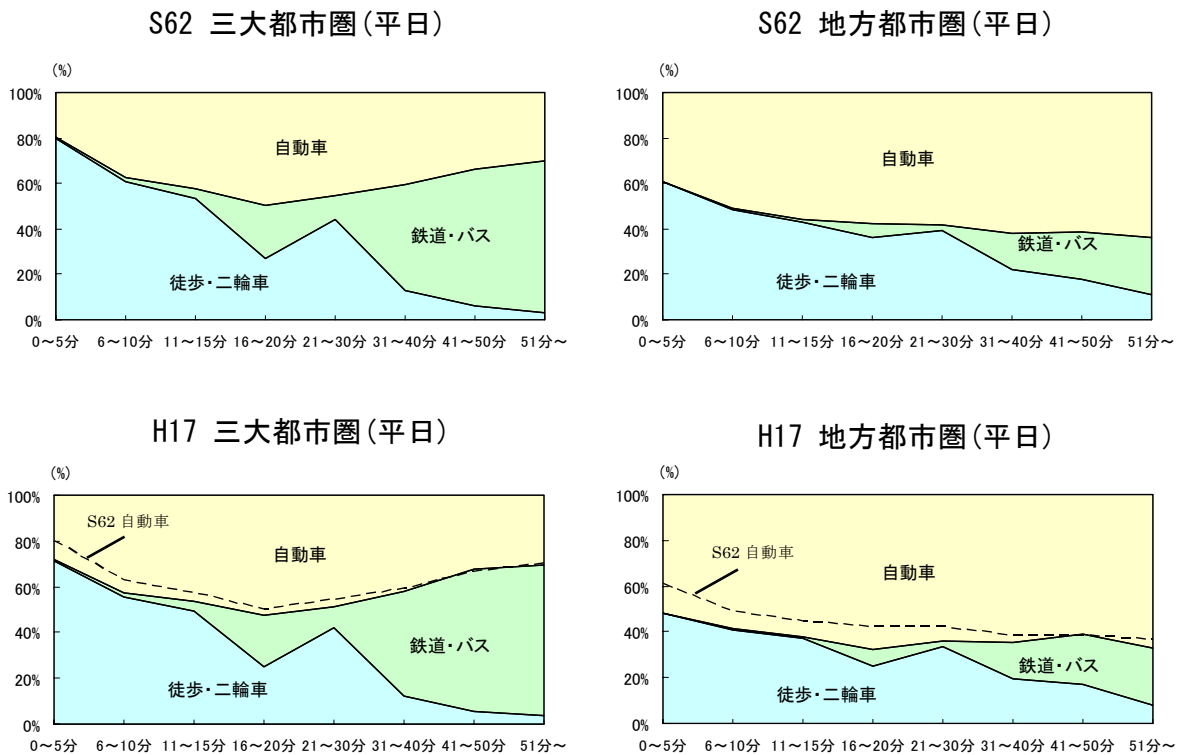
男性については、三大都市圏・地方都市圏ともに1km未満のトリップの割合が大きく減少しています。

- 三大都市圏・地方都市圏とも、移動距離2km以上のトリップの割合が増加する傾向にあります。
- 三大都市圏・地方都市圏とも、移動時間が短いほど自動車利用率が大きく増加する傾向にあります。

トリップ長別構成比（移動距離・全目的・全手段）



トリップ長別代表交通手段利用率（所要時間・全目的）

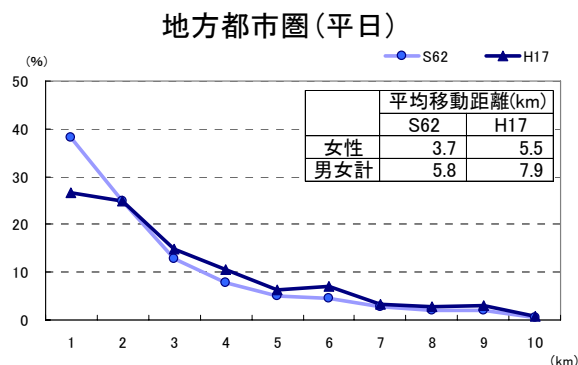
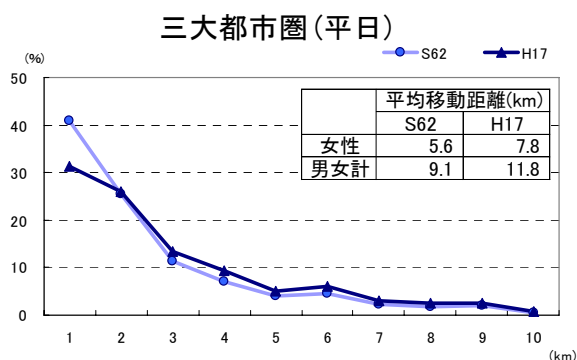


[4] 女性のトリップ長

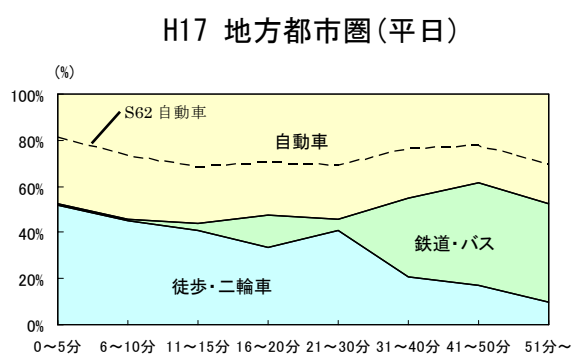
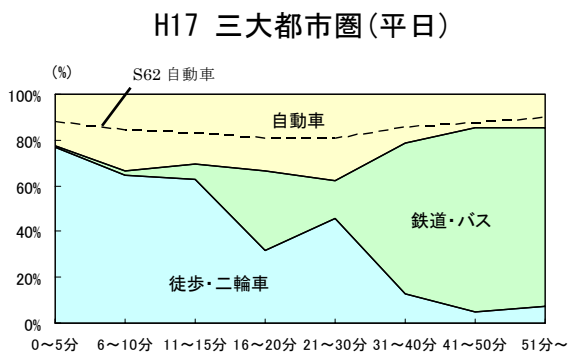
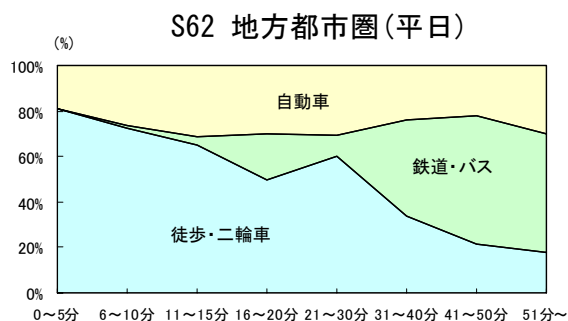
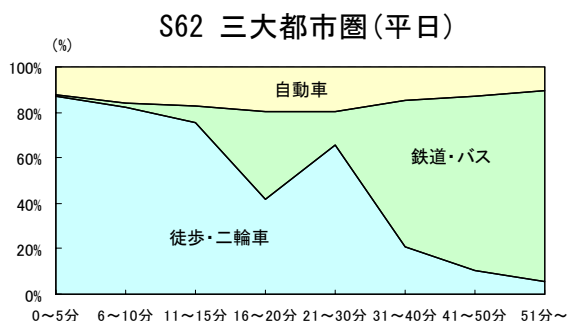
女性についても、男性以上に移動距離 1km 未満のトリップの割合が大きく減少しています。

- 男性と同様、昭和 62 年から平成 17 年にかけて、トリップ長が 1km の短いトリップの割合が低くなっていますが、その差は 10% となっており、男性の 5% に比べて大きく低下しています。
- 昭和 62 年から平成 17 年にかけて、女性の自動車利用率は、男性の場合と比較して大幅に増加しています。

トリップ長別構成比（移動距離・全目的・全手段）



トリップ長別代表交通手段利用率（所要時間・全目的）



2. は 41 都市の集計

(昭和 62 年、平成 4 年、平成 11 年、平成 17 年の 4 時点での比較)

2. 高齢者の交通行動特性分析

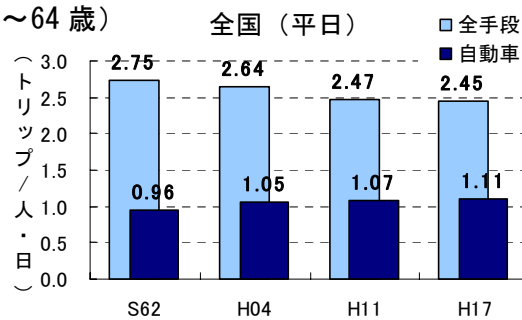
[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

高齢者のトリップ原単位は経年的に全国で微増しています。また、高齢者の自動車のトリップ原単位は全国で一貫して増加しています。

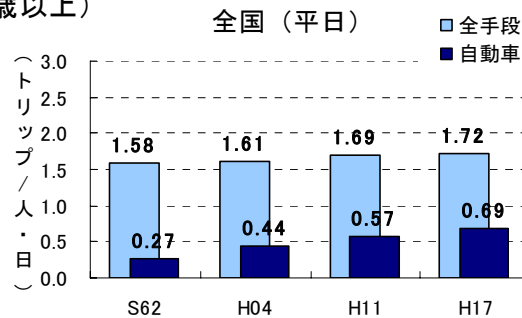
- 全国の自動車原単位の H11 から H17 の伸びは、非高齢者（65 歳未満）が 1.03 倍であるのに対し、高齢者（65 歳以上）は 1.20 倍と高くなっています。

年齢階層別代表交通手段別トリップ原単位（全目的）

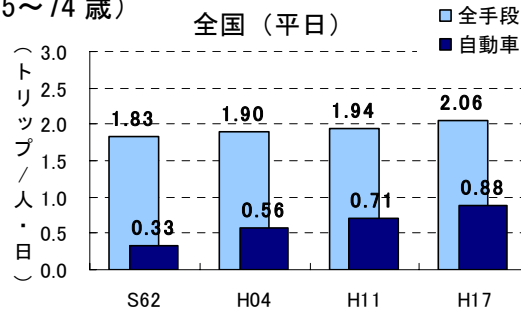
非高齢者（5～64 歳）



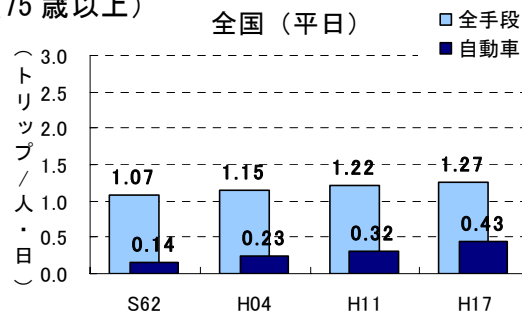
高齢者（65 歳以上）



前期高齢者（65～74 歳）



後期高齢者（75 歳以上）



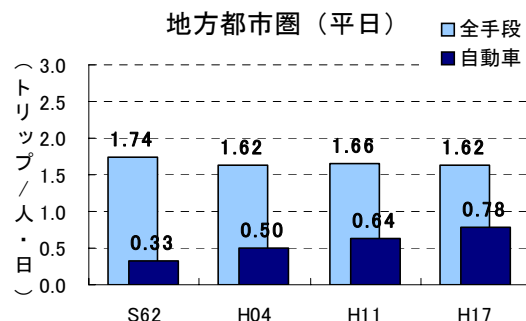
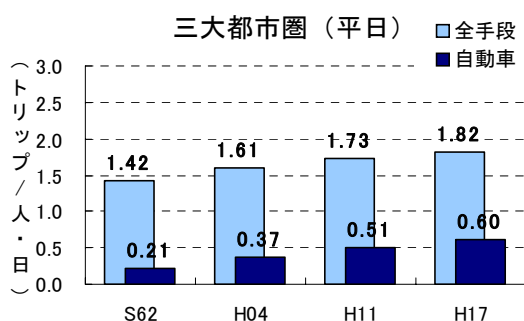
[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

高齢者のトリップ原単位は経年的に三大都市圏で微増、地方都市圏で横ばいです。高齢者の自動車のトリップ原単位は、三大都市圏・地方都市圏ともに一貫して増加しています。

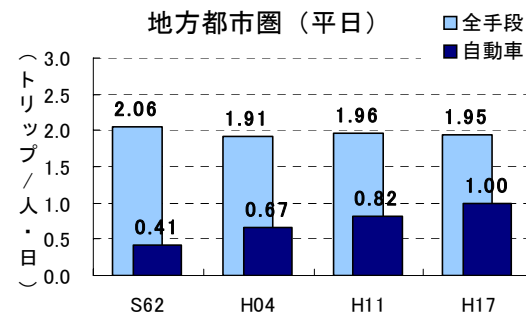
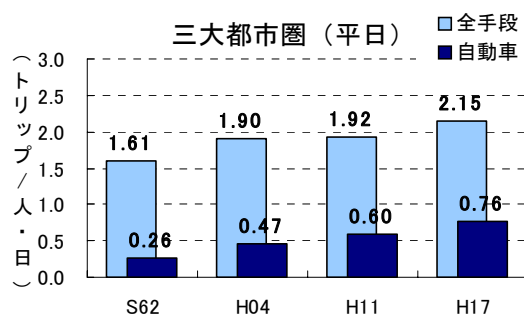
- 三大都市圏では、高齢者のトリップ原単位は、自動車原単位の増加に応じて、増えています。
- 地方都市圏では、高齢者のトリップ原単位は横ばいで、他の交通手段から自動車の利用に変わっています。

年齢階層別代表交通手段別トリップ原単位（全目的）

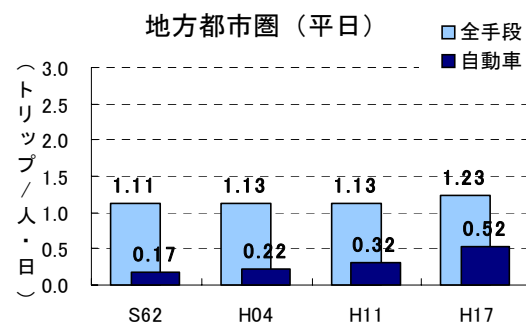
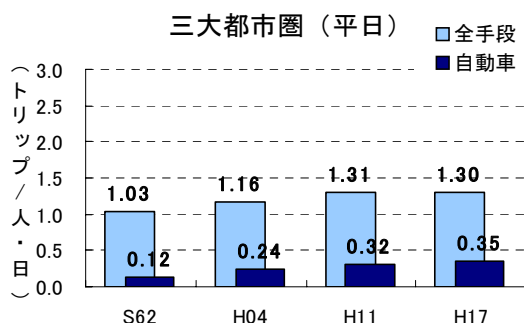
高齢者（65歳以上）



前期高齢者（65～74歳）



後期高齢者（75歳以上）



[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

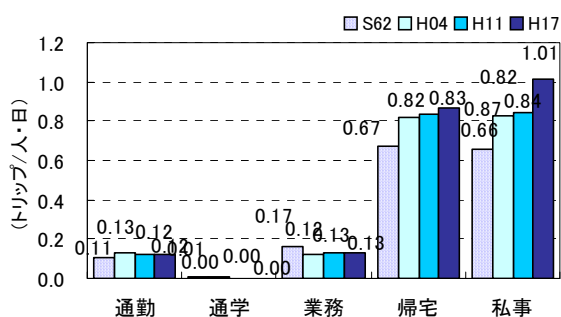
前期高齢者の目的別トリップ原単位は、三大都市圏・地方都市圏ともに私事目的が増加しています。

- 三大都市圏の後期高齢者は、H11 まで私事目的のトリップ原単位が増加してきましたが、H17 には減少しています。
- 地方都市圏では、前期高齢者・後期高齢者ともに私事目的のトリップ原単位は微増しています。

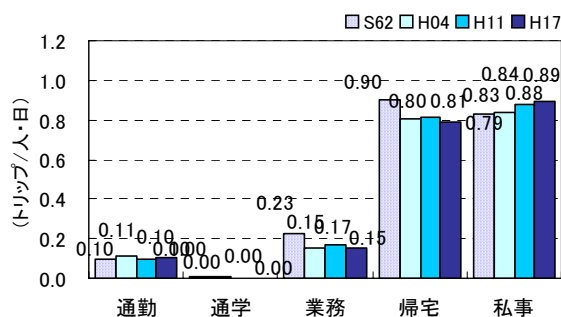
目的別トリップ原単位（全手段）

前期高齢者 65～74 歳

三大都市圏(平日)

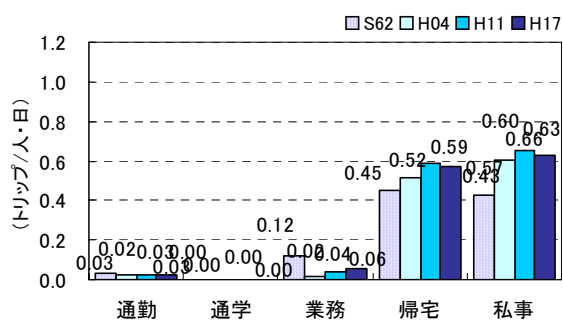


地方都市圏(平日)

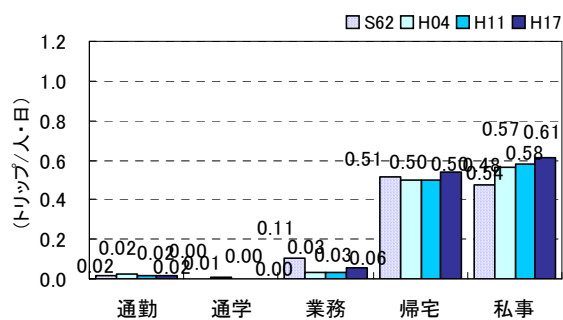


後期高齢者 75 歳以上

三大都市圏(平日)



地方都市圏(平日)



[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

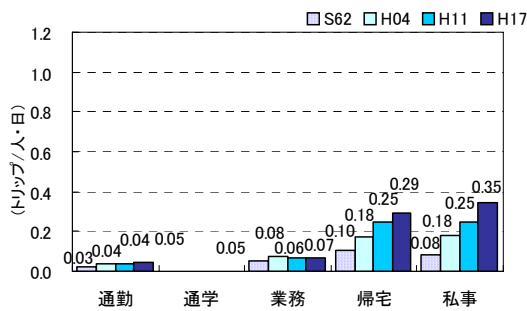
前期高齢者と地方都市圏の後期高齢者は、私事目的において自動車原単位が増加しています。

- 前期高齢者では、S62 から H17 において三大都市圏では約 2.8 倍、地方都市圏では約 3 倍の伸びとなっています。
- 前期高齢者・後期高齢者ともに免許保有率は上昇しています。

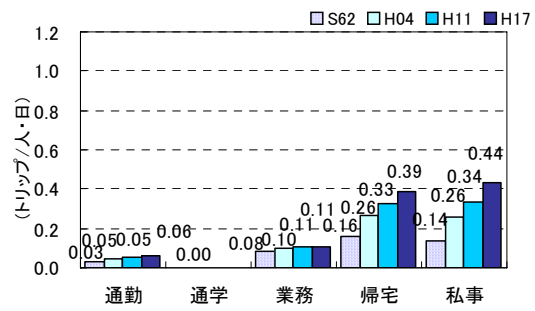
目的別トリップ原単位（自動車）

前期高齢者 65～74 歳

三大都市圏(平日)

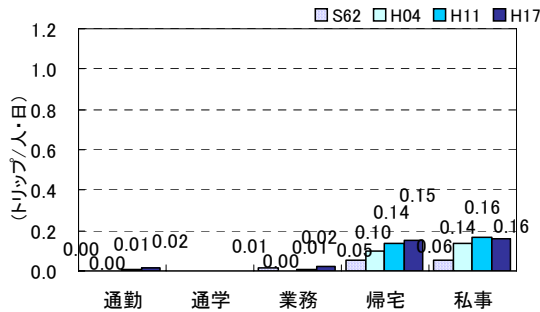


地方都市圏(平日)

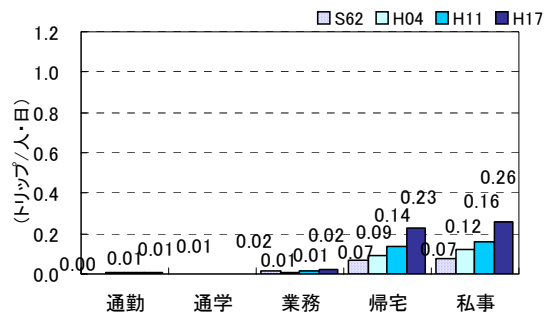


後期高齢者 75 歳以上

三大都市圏(平日)

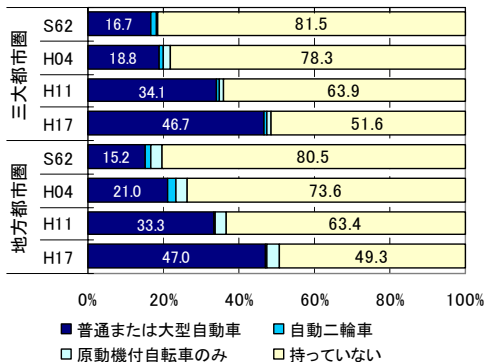


地方都市圏(平日)

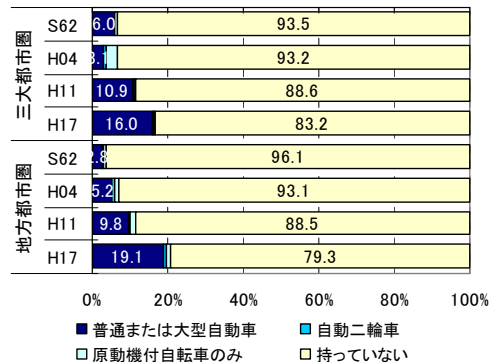


年齢階層別免許保有率

前期高齢者



後期高齢者



■全国都市交通特性調査の集計結果を示しています。

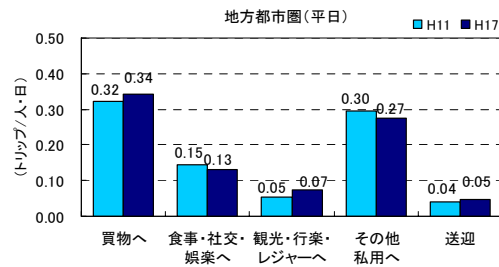
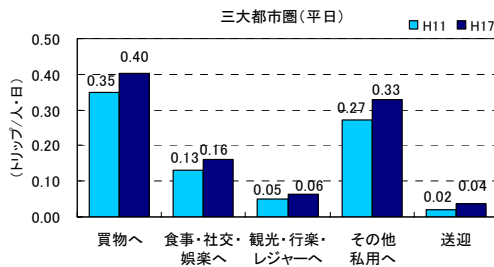
[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

前期高齢者の買物目的トリップ原単位は、三大都市圏・地方都市圏ともに増加しています。

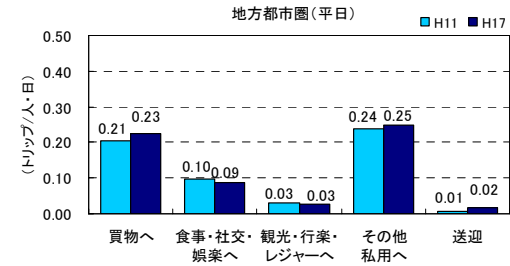
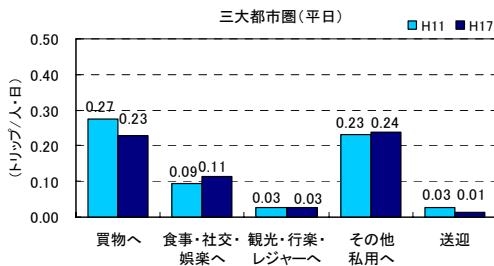
- 三大都市圏、地方都市圏ともに前期高齢者は、買物目的の自動車トリップ原単位が増加しています。
- 地方都市圏では、後期高齢者の買物目的の自動車トリップ原単位が H11 から H17 にかけて 2 倍程度増加しています。

私事目的(細分類)別トリップ原単位 (全手段)

前期高齢者 65～74 歳

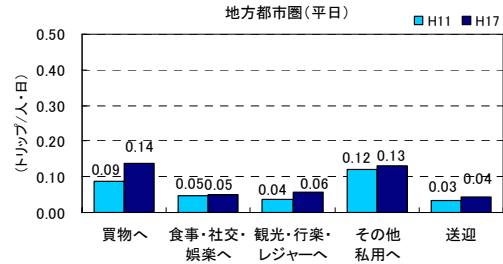
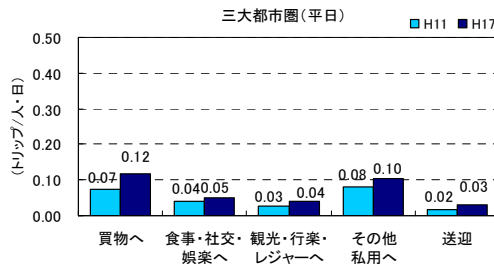


後期高齢者 75 歳以上

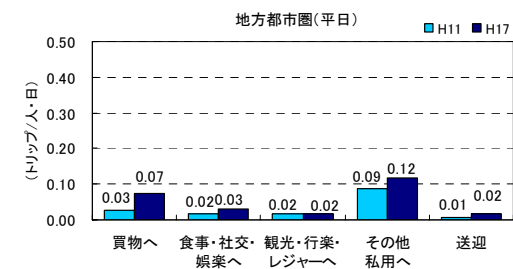
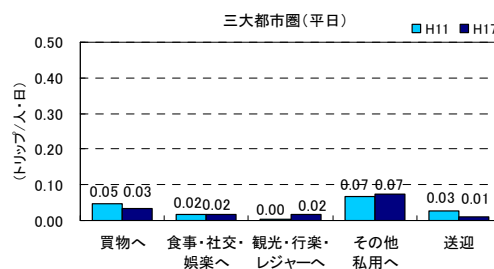


私事目的(細分類)別トリップ原単位 (自動車)

前期高齢者 65～74 歳



後期高齢者 75 歳以上



3. は62都市の集計

(平成17年の都市交通に関する意識調査からの集計結果)

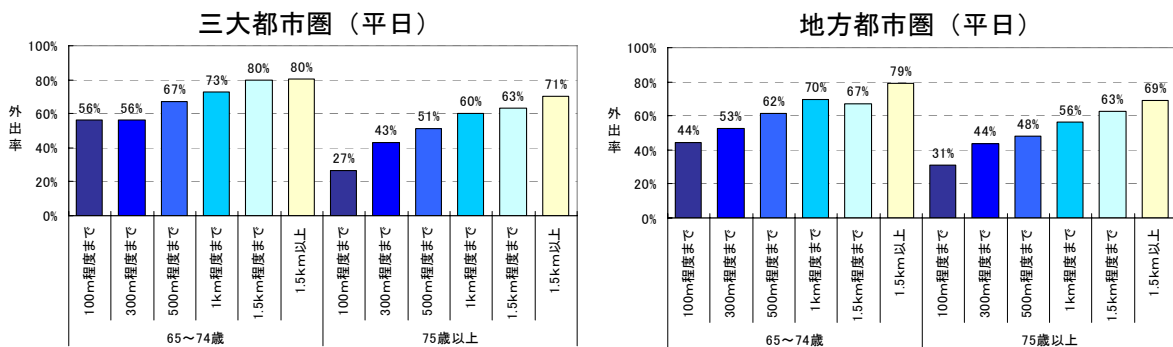
3. 高齢者と自動車利用

[1] 徒歩移動可能距離と交通特性

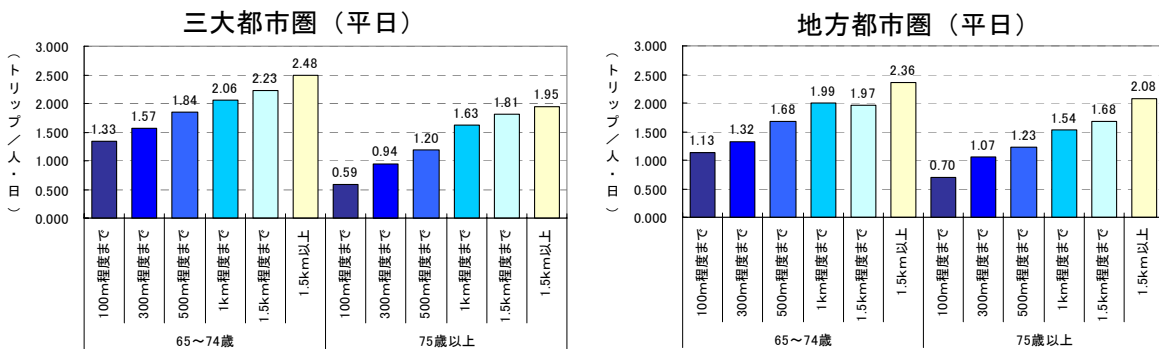
徒歩での移動が困難な人ほど外出率、原単位がともに低くなっています。

- 地方都市圏では、前期高齢者(65～74歳)・後期高齢者(75歳以上)ともに、歩行可能距離100m程度の人原単位は、歩行可能距離1.5km以上を人の半分以下と低くなっています。
- 高齢になるほど歩行可能な距離の短い人が多く、後期高齢者(75歳以上)は500m以上歩行できない人が5割近くいます。

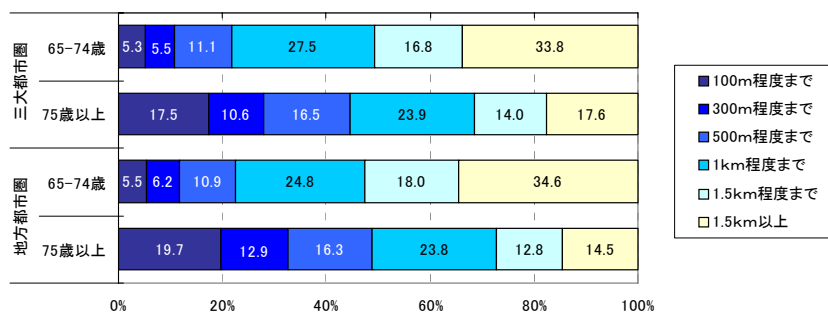
徒歩(補助器具を含む)移動可能距離別外出率



徒歩(補助器具を含む)移動可能距離別原単位



徒歩(補助器具を含む)移動可能距離別人数構成比

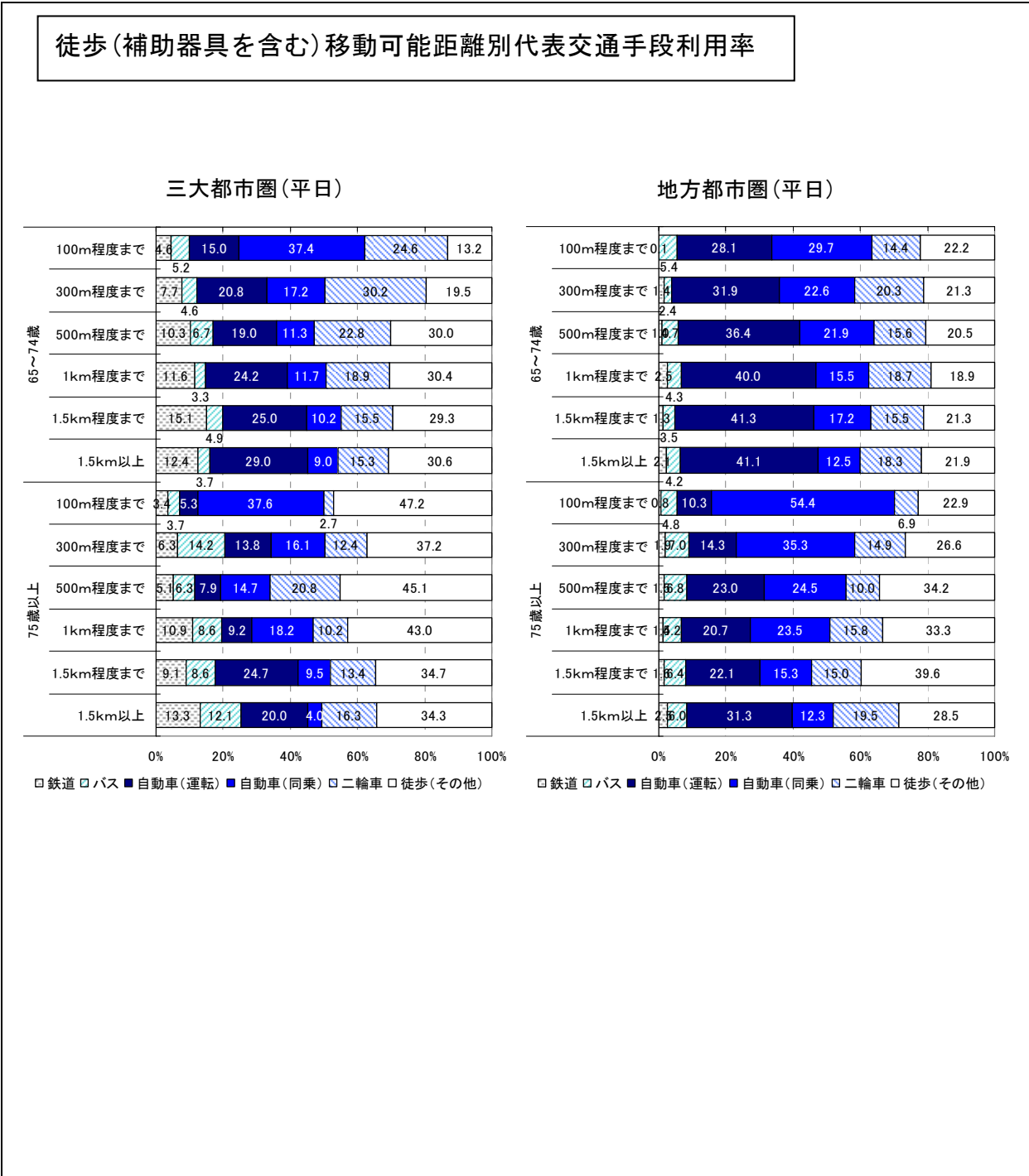


■ 全国都市交通特性調査の回答者の構成比を示しています。

[1] 徒歩移動可能距離と交通特性

徒歩での移動が困難な人ほど自動車に同乗して移動する割合が高くなっています。

- 前期高齢者・後期高齢者ともに、歩行可能な距離が短い人ほど同乗の割合が高くなっており、特に地方都市圏の後期高齢者でその傾向が顕著となっています。



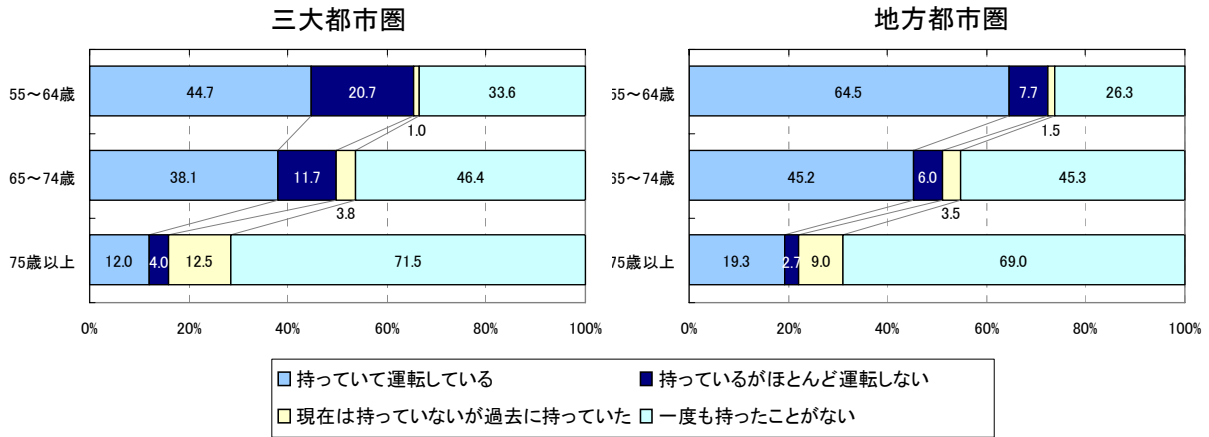
[2] 高齢者の免許保有と運転状況

過去に運転免許を持っていて現在は持っていない人は、75歳以上で1割程度います。

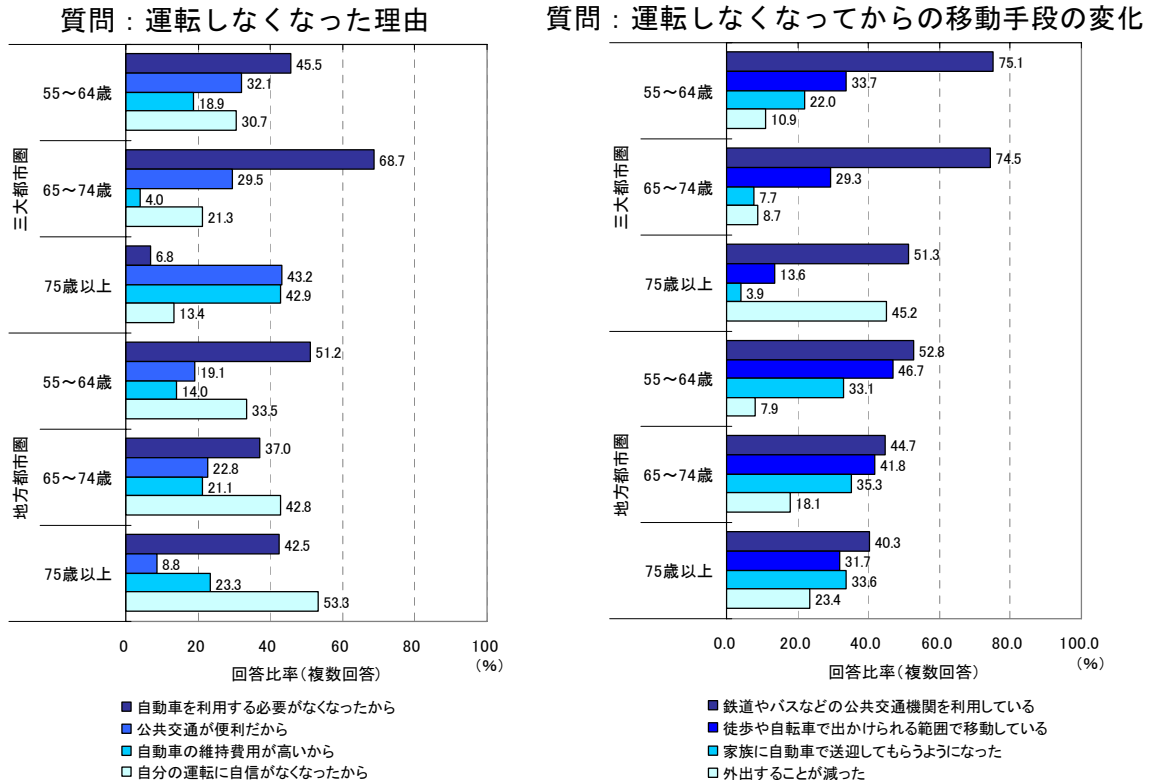
- 75歳以上で自動車の免許を保有している人は、三大都市圏で約16%、地方都市圏で約22%となっています。そのうち、三大都市圏で約2割、地方都市圏で約1割程度の人ほとんど運転していません。
- 75歳以上の人運転をほとんどしなくなった理由としては、三大都市圏では「公共交通が便利だから」と回答した人が多く、地方都市圏では「自分の運転に自信がなくなったから」と回答した人が多くなっています。

高齢者の免許保有と運転状況

質問：現在自動車運転免許をお持ちですか。
(過去に自動車免許を持っていた人を含む)



『免許を持っているがほとんど運転しない人』についての質問



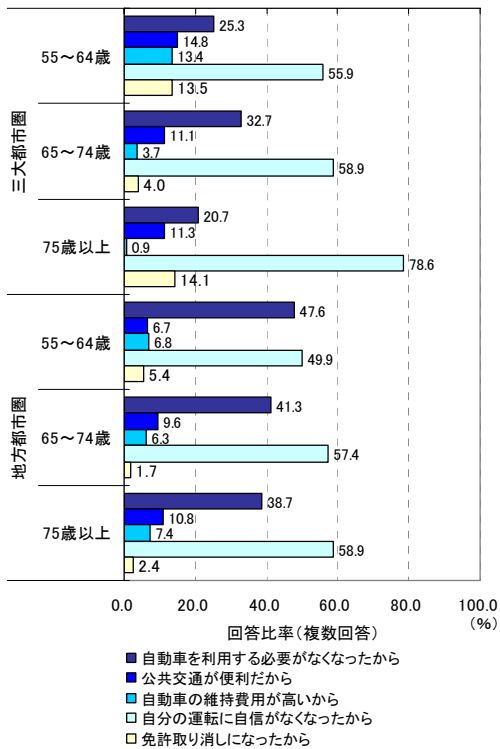
[3] 高齢者の免許を持たなくなった理由とその後の移動状況

過去に免許を持っていた人の免許を持たなくなった理由は、三大都市圏・地方都市圏ともに高齢者では、「自分の運転に自信がなくなったから」となっています。

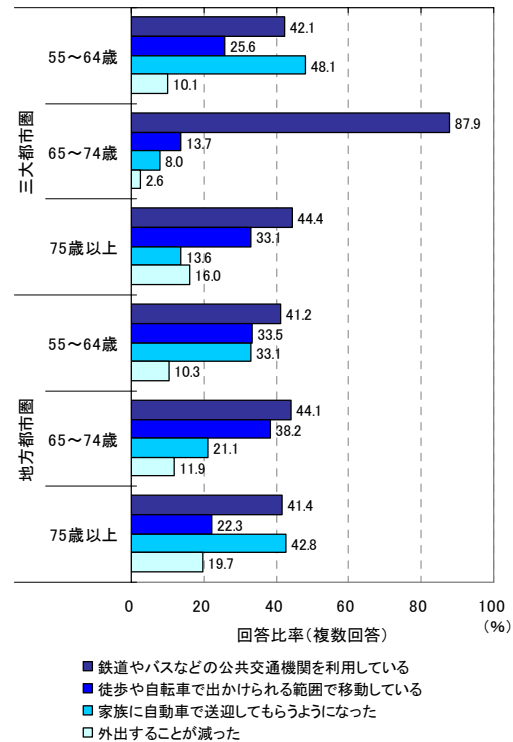
- 地方都市圏の高齢者の運転免許を持たなくなった理由は、「自分の運転に自信がなくなったから」という回答が最も多くなっていますが、「自動車を利用する必要がなくなった」と回答している割合も高くなっています。
- 運転免許を持たなくなってからの移動の変化は、三大都市圏の前期・後期高齢者とも「鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している」と回答した割合が高くなっています。
- 地方都市圏の後期高齢者では、「家族に自動車で送迎してもらったようになった」と回答した人の割合も高くなっています。

『過去に運転免許を持っていて、現在持っていない人』についての質問

質問：運転免許を持たなくなった理由



質問：運転免許を持たなくなってからの移動の変化



4. は62都市の集計

(平成17年の都市交通に関する意識調査からの集計結果)

4. 地球環境と自動車利用

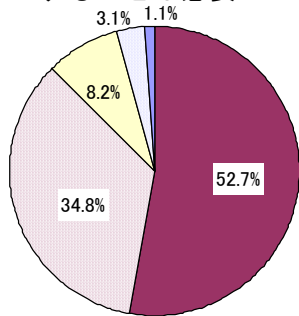
半数以上の方が自動車での移動をできれば控えた方が良く考えています。

自動車利用者の約3割が自動車利用を減らすことが可能と考えています。

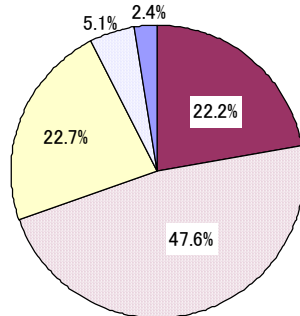
- 約88%の人が「1人ひとりが環境に配慮することが必要(「どちらかというと思う」を含む)」と考えていますが、「自動車の移動をできれば控えた方が良い」と考えている人(「どちらかというと思う」を含む)は、約55%です。
- 「自動車での移動を控えてみよう」と考えている人(どちらかというと思うと可能だと思うを含む)は、三大都市圏で約71%、地方都市圏で63%です。

環境意識別回答構成比 (全回答者を対象に質問)

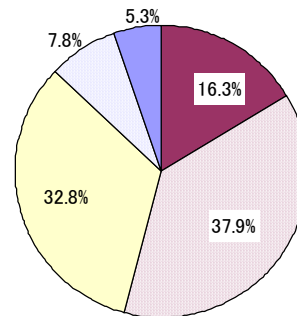
1人ひとりが環境に配慮することは必要か



自動車の移動は環境に悪い影響を及ぼすと思うか



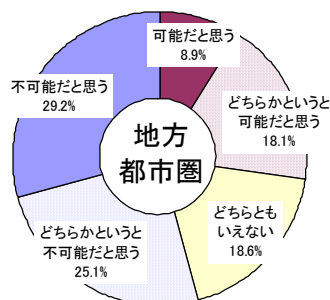
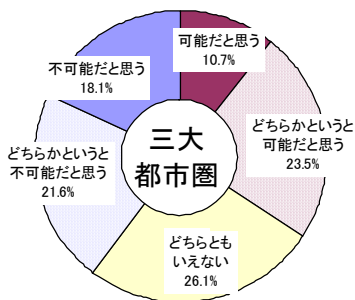
自動車の移動をできれば控えた方が良いと思うか



■とてもそう思う □どちらかというと思う □どちらともいえない □どちらかというと思わない ■全然そう思わない

環境意識別回答構成比 (自動車を利用している方に質問)

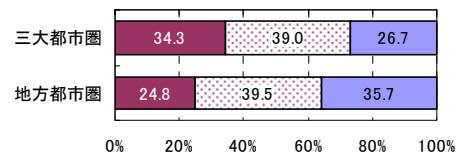
自動車の移動を今より減らすことは可能か



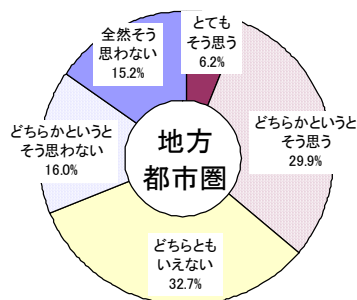
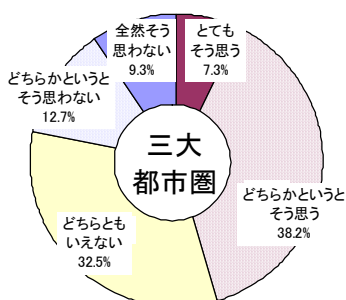
自動車の利用を減らすとしたら自動車の代わりに何をを使うか

■使うようになる □少し使うようになる ■使うようにならない

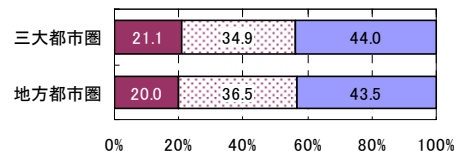
【鉄道やバス】



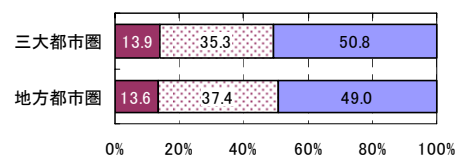
自動車での移動を控えてみようと思うか



【自転車】



【徒歩】



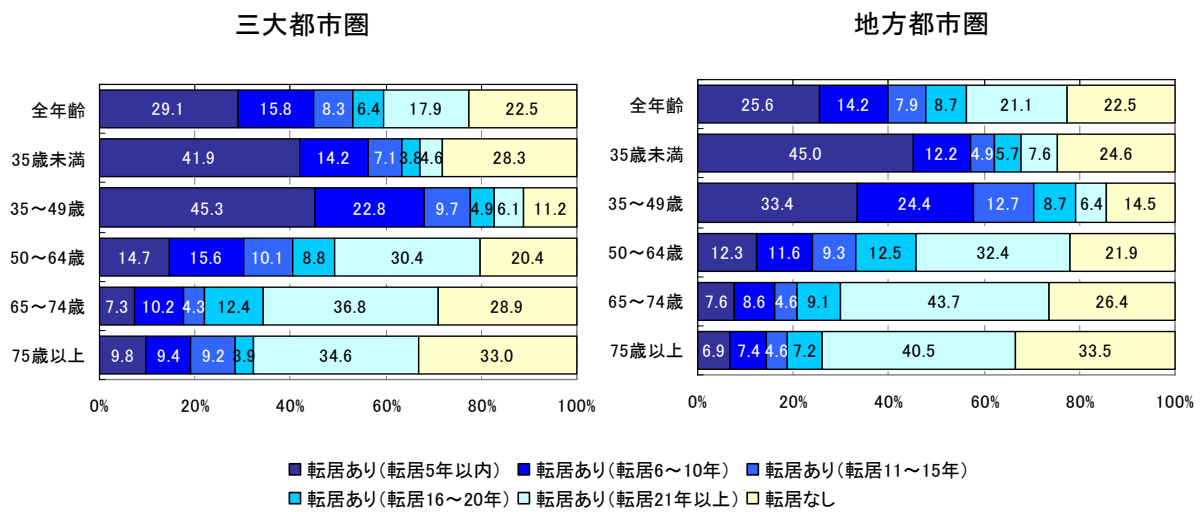
5. 居住地選択

[1] 居住地選択と交通特性の分析

最近 15 年以内に 5 割程度の方が転居しています。75 歳以上の人でも 15 年以内に 25%程度の方は、転居しています。

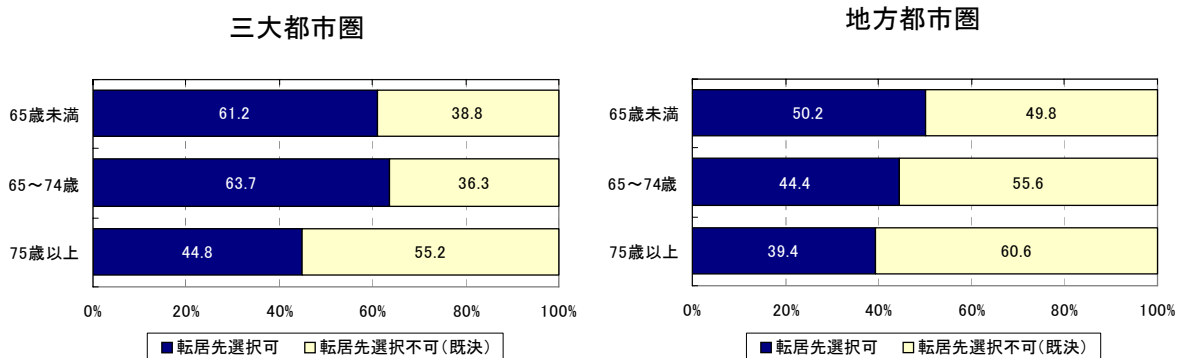
- 75 歳以上でも全体の 4 分の 1 の人は、15 年以内に（60 歳を超えてから）転居しています。

年齢階層別転居経過年数別人数構成比



■全国都市交通特性調査の回答者の構成比を示しています。

年齢階層別転居選択可能性別人数構成比



■全国都市交通特性調査の回答者の構成比を示しています。

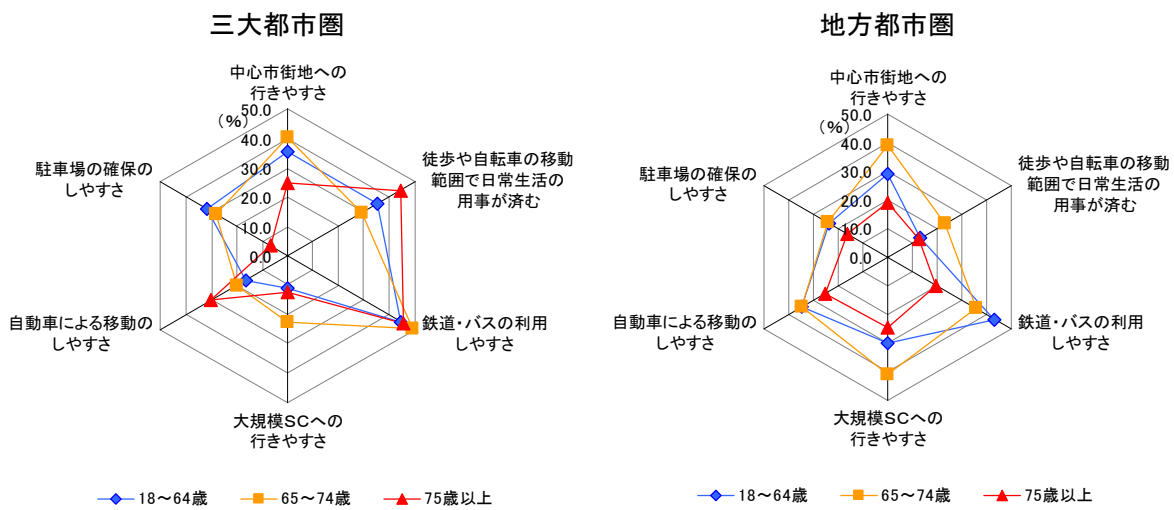
[2] 転居先選択要因

三大都市圏の75歳以上の人は、転居地の選択要因として「徒歩や自転車の移動範囲で日常生活の用事が済む」と「鉄道・バスの利用しやすさ」を考慮した割合が他の要因に比べて高くなっています。

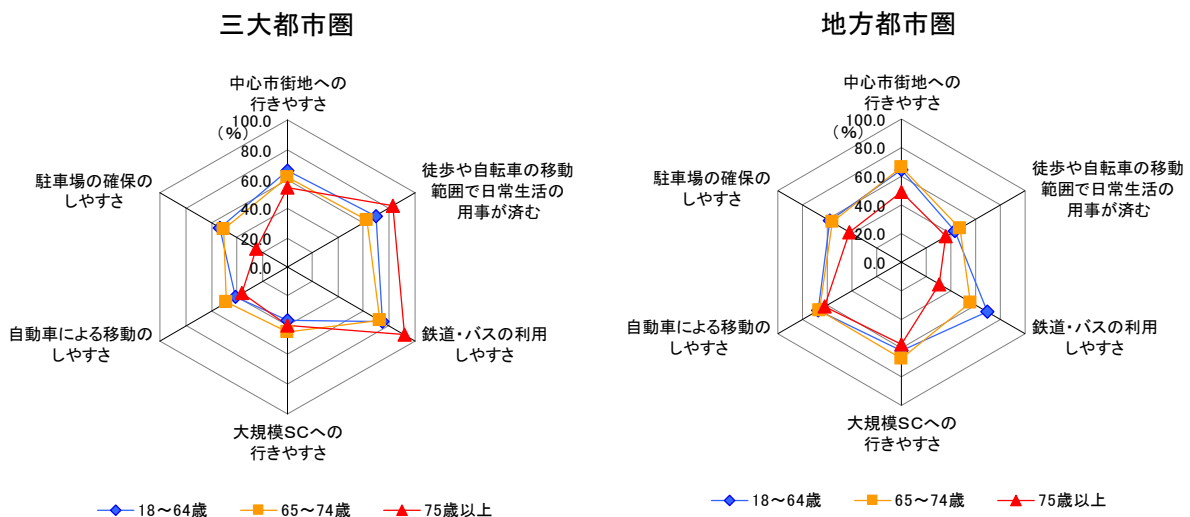
- 転居先の選択要因をみると、三大都市圏では75歳以上の人のうち、8割以上が「徒歩や自転車の移動範囲で日常生活の用事が済む」と「鉄道・バスの利用しやすさ」を考慮しています。
- 地方都市圏の75歳以上の人の転居先の選択要因をみると、6割以上が「自動車による移動のしやすさ」と「大規模SCへの行きやすさ」を考慮しています。

年齢階層別転居先選択要因

「よく考慮した」



「よく考慮した」 + 「少し考慮した」



※回答形式は、各転居要因について「全く考慮していない」、「あまり考慮していない」、「どちらでもない」、「少し考慮した」、「よく考慮した」の中から選択。

参考：交通実態調査票 都市調査 世帯票

用紙番号	調査区/市	世帯	人数
			1

記入についてのお願い

- 黒の筆記用具で、世帯の代表者（世帯主）が記入して下さい。
- 回答は、**緑色の部分（回答欄）**に記入して下さい。
- 回答欄に番号がある場合は、該当する番号を○で囲んで下さい。

この調査は、総務省の承認を得た統計調査です。

承認番号：26218
承認期間：平成17年9月2日から平成18年3月31日まで

この調査は、交通計画やまちづくりの発想を得るための基礎資料を得ることを目的としています。調査票に記入された内容は、この目的以外には使用しません。

国土交通省 全国都市交通特性調査

秘 都市調査・世帯票

1 あなたの世帯のお住まいについてお答えください。

2 記入例を参考に、あなたの世帯の方全員についてお答えください。

※いちばん左の欄の番号が、世帯の方それぞれの個人番号となりますので、個人番号に個人番号を記入する場合はこの番号で答えて下さい。

記入例	世帯主との続柄		性別	年齢	職業	就業形態	自由にする自動車	
	世帯主との続柄	世帯主との続柄					1	2
1 (世帯主)	1	1	男	36歳	3	2	1	1
2			男				1	1
3			男				1	1
4			男				1	1
5			男				1	1
6			男				1	1

住居の種類

- 1 持ち家
- 2 賃貸住宅（社宅、公務員住宅、独身寮などを含む）

住居の建て方

- 1 一戸建
- 2 集合住宅（長屋建、テラスハウスを含む）

表1 世帯主との続柄

- 本人
- 妻・夫
- 子
- 孫
- 兄弟・姉妹
- 父・母
- 祖父・祖母
- いとこ
- おじ・おば
- おい・おい
- その他

表2 職業の分類

●職業をお持ちの方（パート・アルバイトを含む。ただし学生は除く）

- 1 農林漁業作業者
- 2 生業工員・労務作業者
- 3 販売従事者
- 4 サービス従事者
- 5 運輸・通信従事者
- 6 保安従事者
- 7 事務従事者
- 8 専門的・技術的職業従事者
- 9 管理職
- 10 その他
- 11 中学生以下（生徒・児童・園児など）
- 12 高校以上の学生
- 13 主婦・主夫（職業従事者を除く）
- 14 無職
- 15 その他

表3 就業形態

- 1 自営業主・家族従業者
- 2 正規の職員・従業員
- 3 派遣社員・契約社員 等
- 4 パート・アルバイト
- 5 会社などの役員
- 6 その他

自動車	軽乗用車 [] 台	乗用車 [] 台	軽貨物車 [] 台	貨物自動車 [] 台
二輪車	自動二輪車 (50ccを超える) [] 台	自動二輪車 (50cc以下) [] 台	原動機付自転車 (50cc以下) [] 台	自転車 [] 台

3 世帯で所有、または通常使用している自動車や自転車などの台数を答えて下さい。

※会社の車、通常、家に持ち帰って使用している車を言いません。

参考：意識調査票 A票 おもて

市区町村	調査区	分	世帯

- (8) 自転車や徒歩に関連する施策のうち、優先的に実施すべき施策は何ですか。(当てはまるもの2つ以内に○)
- | | | |
|--------------|------------------|------------------|
| 1. 幅の広い歩道の整備 | 2. 歩行者と自転車の通行の分離 | 3. 駅や目的地周辺の駐輪場整備 |
| 4. 電柱の地中化 | 5. 車いす用経路の情報提供 | 6. 生活道路の整備 |

近年、人間のさまざまな活動により、二酸化炭素等の温室効果ガスの濃度が増大し、気温が上昇する地球温暖化の問題が指摘されています。このことについて以下のようにお答え下さい。

- 問4 環境と自動車に関するあなたの考えをうかがいます。①～③にお答え下さい。
- (1) 一人ひとりが環境に配慮することは必要だと思いますか。
- | | | | | |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
| 1. 全然そう
思わない | 2. どちらかという
そう思わない | 3. どちらとも
いえない | 4. どちらかという
そう思う | 5. とても
そう思う |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
- (2) 自動車の移動は環境に悪い影響を及ぼすと思いますか。
- | | | | | |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
| 1. 全然そう
思わない | 2. どちらかという
そう思わない | 3. どちらとも
いえない | 4. どちらかという
そう思う | 5. とても
そう思う |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
- (3) 自動車での移動をできれば控えた方がよいと思いますか。
- | | | | | |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
| 1. 全然そう
思わない | 2. どちらかという
そう思わない | 3. どちらとも
いえない | 4. どちらかという
そう思う | 5. とても
そう思う |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
- (2)(3)は、自動車を利用している方にかかいます。
自動車を全く使っていない方は、裏面 問5 にお進み下さい。

- (2) 自動車での移動についてどのようにお考えですか。①～③にお答え下さい。
- ①自動車での移動を今より減らすことは可能ですか。
- | | | | | |
|--------------------|---------------------------|------------------|--------------------------|-------------------|
| 1. 不可能
だと思
う | 2. どちらかという
不可能だと思
う | 3. どちらとも
いえない | 4. どちらかという
可能だと思
う | 5. 可能
だと思
う |
|--------------------|---------------------------|------------------|--------------------------|-------------------|
- ②自動車の利用を減らすとしたら、自動車の代わりに何を使うと思いますか。(それぞれについてお答え下さい。)
- | | | | |
|--------------------------------|---------|---------|-------|
| 自動車の代わりに
「鉄道やバス」で移動するように・・・ | 1. ならない | 2. 少しなる | 3. なる |
| 自動車の代わりに
「自転車」で移動するように・・・ | 1. ならない | 2. 少しなる | 3. なる |
| 自動車の代わりに
「徒歩」で移動するように・・・ | 1. ならない | 2. 少しなる | 3. なる |
- ③自動車での移動をできるだけ控えてみようと思いますか。
- | | | | | |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
| 1. 全然そう
思わない | 2. どちらかという
そう思わない | 3. どちらとも
いえない | 4. どちらかという
そう思う | 5. とても
そう思う |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
- (3) 多少価格が高くても燃費が良く排気ガスの少ない自動車を購入して使用しますか。
- | | | | | |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|
| 1. 全然そう
思わない | 2. どちらかという
そう思わない | 3. どちらとも
いえない | 4. どちらかという
そう思う | 5. とても
そう思う |
|-----------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------|

都市交通に関する意識調査

■ 記入についてお願い
 ・黒の筆記用具で記入して下さい。
 ・回答は、[] の部分 (回答欄) に記入して下さい。
 ・回答欄に番号がある場合は、該当する番号を○で囲んで下さい。

問1 世帯票でのあなたの個人番号を記入して下さい。[] 番
 一人ひとりが記入して下さい。

問2 交通機関の利用状況についてお聞きします。
 (1) 以下の交通機関をどのくらい利用していますか。

- 【記入例】月に3回程度の場合
- | | | |
|--------|---------------|-----|
| ①鉄道は | 1. 年に2月に3. 週に | 日程度 |
| ②路線バスは | 1. 年に2月に3. 週に | 日程度 |
| ③自動車は | 1. 年に2月に3. 週に | 日程度 |
- (2) 通勤・通学されている方にお聞きします。
 通勤・通学時に利用している交通手段は何ですか。主な交通機関1つに○をして下さい。
- | | | | | | |
|-------|---------|--------|--------|-------|--------|
| 1. 鉄道 | 2. 路線バス | 3. 自動車 | 4. 自転車 | 5. 徒歩 | 6. その他 |
|-------|---------|--------|--------|-------|--------|

問3 交通機関に対して不便と思うことや優先的に実施すべき施策についてお聞きします。

- (1) 鉄道の利用時に不便と思うことはありますか。(当てはまるもの2つ以内に○)
- | | | |
|-------------|--------------|------------------|
| 1. 運行本数が少ない | 2. 車内が混雑している | 3. 駅に段差が多い |
| 4. 乗り換えが不便 | 5. 駅の案内が不十分 | 6. 車用の送迎スペースが少ない |
- (2) 鉄道に関する施策のうち、優先的に実施すべき施策は何ですか。(当てはまるもの2つ以内に○)
- | | | |
|---------------|-----------------|------------------|
| 1. 運行本数を増やす | 2. 駅にエレベーター等の設置 | 3. 乗り換えの移動距離を減らす |
| 4. 乗り換え時の料金割引 | 5. 駅のサインや案内の充実 | 6. 駅前広場の整備 |
- (3) 路線バスの利用時に不便と思うことはありますか。(当てはまるもの2つ以内に○)
- | | | |
|-------------|-----------------|------------------|
| 1. 運行本数が少ない | 2. 時刻通りに運行していない | 3. 終発が早い |
| 4. 車内が混雑する | 5. 乗降時に段差がある | 6. バス停に屋根やベンチがない |
- (4) 路線バスに関する施策のうち、優先的に実施すべき施策は何ですか。(当てはまるもの2つ以内に○)
- | | | |
|-------------|-------------------|-------------|
| 1. 運行本数を増やす | 2. バス専用レーン・バス優先信号 | 3. 運行情報の提供 |
| 4. 運行時間の延長 | 5. 低床バスの導入 | 6. バス停施設の改善 |
- (5) 自動車の利用時に不便と思うことはありますか。(当てはまるもの2つ以内に○)
- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 道路が混雑する | 2. 自転車・歩行者が危険 | 3. 道幅が狭くて走りづらい |
| 4. 目的地周辺に駐車場がない | 5. 案内標識が分かりにくい | 6. 所要時間がわからない |
- (6) 自動車に関する施策のうち優先的に実施すべき施策は何ですか。(当てはまるもの2つ以内に○)
- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 市街地を迂回するバイパス | 2. 車線数を増やす・拡幅する | 3. 道路と鉄道の立体交差化 |
| 4. 安全な生活道路の整備 | 5. 駐車場の整備 | 6. 混雑・所要時間情報の提供 |
- (7) 自転車や徒歩での外出時に不便と思うことはありますか。(当てはまるもの2つ以内に○)
- | | | |
|-----------|----------------|-------------|
| 1. 自動車や危険 | 2. 歩行者とぶつかって危険 | 3. 電柱や看板が多い |
| 4. 段差が多い | 5. 自転車とぶつかって危険 | 6. 駐輪場がない |

問5 国や自治体が税金を投入して、鉄道や路線バスなどの公共交通サービスの整備・維持をすべきという考え方があります。このような考え方に对您はどうかと思えますか。
(あなたの考えに近いもの1つに○)

- 1. 採算がとれない路線は廃止になってもやむを得ない
- 2. 税金を投入して、現状の公共交通サービスを維持していくべきである
- 3. 税金を投入して、鉄道・バスなどの新しい路線を整備したり、運行頻度を増やしたりしていくべきである

問6 日常の外出についてお聞きします。

(1) 日常生活で交通が不便などの理由から外出を控えていることはありますか。

- 1. 控えている → 外出を控えている理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内)○
- 2. 控えていない
- 3. 公共交通の乗降時に段差が多い
- 4. 街なかの歩道に段差が多い
- 5. 目的地で直接行ける公共交通機関がない
- 6. 公共交通機関の運行本数が少ない
- 7. 家族の都合に合わせてなければならない
- 8. その他

(2) 外出するときに次のようなものを利用しますか。

- 1. 杖(つえ)
- 2. 手押しカート
- 3. シニアカー
- 4. 車いす
- 5. 特利用しない

(3) 徒歩や(2)の手段で休まずに移動できる距離はどの程度ですか。

- 1. 100m程度まで
- 2. 200m程度まで
- 3. 300m程度まで
- 4. 1km程度まで
- 5. 1.5km程度まで
- 6. 1.5km以上 → [具体的には] km程度

(4) 自転車でも移動してもよいと思う距離はどの程度ですか。

- 1. 自転車は利用しない
- 2. 500m程度まで
- 3. 1km程度まで
- 4. 2km程度まで
- 5. 3km程度まで
- 6. 3km以上 → [具体的には] km程度

問7 自動車の運転免許の保有と自動車運転の状況についてお聞きします。

現在自動車運転免許をお持ちですか。

- 1. 持っている → 持っているがほとんど運転しない → 問7-2へ
- 2. 持っているがほとんど運転しない → 問7-1へ
- 3. 現在は持っていないが過去に持っていた → 問7-3へ
- 4. 一度も持ったことがない → これで終了です

問7-1 自動車運転免許をお持ちで運転している方にうかがいます。

(1) 今後も自動車の運転を継続しますか。

- 1. 運転を継続しない → 2. どちらともいえない → 3. 運転を継続する
- 2. どちらともいえない → (3)にお進み下さい
- 3. 運転を継続する → (3)にお進み下さい

(2) (1)で「1.運転を継続しない」とお答えの方にうかがいます。

自動車の運転を継続しない理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内)○

- 1. 自動車を利用する必要がなくなったから
- 2. 公共交通が便利だから
- 3. 自動車の維持費用が高いから
- 4. 自分の運転に自信がなくなったから
- 5. 家族の都合に合わせてなければならない
- 6. その他
- 7. 更新する
- 8. どちらともいえない
- 9. 更新しない

問7-2 自動車の運転免許を持っているが、ほとんど運転していない方にうかがいます。

(1) 運転しなくなったのはいつ頃ですか。 約 [] 年前 (1年未満の方は「0年前」とご記入下さい)

(2) 運転しなくなった理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内)○

- 1. 自動車を利用する必要がなくなったから
- 2. 公共交通が便利だから
- 3. 自動車の維持費用が高いから
- 4. 自分の運転に自信がなくなったから
- 5. 家族の都合に合わせてならない
- 6. その他
- 7. 更新する
- 8. どちらともいえない
- 9. 更新しない

(3) 運転しなくなったから移動はどのように変化しましたか。(当てはまるもの2つ以内)○

- 1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している
- 2. 徒歩や自転車で行ける範囲で移動している
- 3. 家族に自動車を送迎してもらった
- 4. 外出することが減った
- 5. その他

(4) 次の更新時期に運転免許を更新しますか。

- 1. 更新する
- 2. どちらともいえない
- 3. 更新しない

問7-3 過去に自動車運転免許を持っていて、現在持っていない方にうかがいます。

(1) 免許を持たなくなったのはいつ頃ですか。 約 [] 年前 (1年未満の方は「0年前」とご記入下さい)

(2) 免許を持たなくなった理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内)○

- 1. 自動車を利用する必要がなくなったから
- 2. 公共交通が便利だから
- 3. 自動車の維持費用が高いから
- 4. 自分の運転に自信がなくなったから
- 5. 免許取り消しになったから
- 6. その他

(3) 免許を持たなくなったから移動はどのように変化しましたか。(当てはまるもの2つ以内)○

- 1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している
- 2. 徒歩や自転車で行ける範囲で移動している
- 3. 家族に自動車を送迎してもらった
- 4. 外出することが減った
- 5. その他

ご協力ありがとうございました

参考：意識調査票 B票 おもて

市区町村	調査区(市)	世帯

問4 将来の転居についてお聞きします。

(1) もし、次に転居するならば、以下の①～⑥をどの程度考慮すると思えますか

① 中心市街地への行きやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
② 大規模ショッピングセンターへの行きやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
③ 駐車場の確保のしやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
④ 鉄道・バスの利用しやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
⑤ 徒歩や自転車の移動範囲で日散生活の用事が済む	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
⑥ 自動車による移動のしやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5

(2) 現在のお住まいから転居する予定はありますか。

1. 転居する予定がある	2. 転居を考えたことはあるが、具体的なことまでは考えていない
3. 転居を考えたことはない	

問5 中心市街地・郊外ショッピングセンターに関する意識についてお聞きします。

(1) あなたがお住まいの市の中心市街地はどこですか。 (2) よく出かける郊外ショッピングセンターはどこですか。

例) ○○商店街、○○子ハート周辺 (例) ○○ショッピングセンター △△店、○○プラザ

(1) () の中心市街地、() の郊外ショッピングセンターに出かける時について以下の問いにお答え下さい。

(2) よく出かける郊外ショッピングセンターは() です。

① 一緒に出かける人	1. 家族 2. 友人 3. あなた1人	② 利用交通機関 (多いもの1つに○)	1. 鉄道 2. バス 3. タクシー 4. 自動車 5. 自転車 6. バイク 7. 徒歩
③ ②の交通機関での所要時間	約 分	③ ②の交通機関での所要時間	約 分

(4) 中心市街地、郊外ショッピングセンターに買物で出かける頻度はどの程度ですか。

① 中心市街地	1. 月に2回に 程度	② 郊外ショッピングセンター	1. 月に2回に 程度
---------	-------------	----------------	-------------

(5) 買物以外の目的で中心市街地に出かけることはありますか。また、その目的は何ですか。 (買物のついでに出かける目的「買物とは別に」をまとめてお答え下さい。)

1. ある 2. ほとんどない

1. 通勤 2. 通学 3. 業務 4. 通院 5. 娯楽 6. 食事 7. その他

(6) 以下の①～⑩のイメージは、中心市街地と郊外ショッピングセンターのどちらに当てはまると思えますか。

① 公共交通 (鉄道・バス) で行きやすい	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
② 自動車で行きやすい	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
③ 歩いて美しい	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
④ 歴史・文化的景観がある	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
⑤ 用事が一度に済む	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
⑥ 飲食店や娯楽施設が多い	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
⑦ 値段が安い	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
⑧ 高級品や専門的品物が買える	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
⑨ イベントや娯楽がある	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2
⑩ 店の人とのコミュニケーションが楽しい	中心市街地 1	郊外ショッピングセンター 2

都市交通に関する意識調査

- 記入についてお願い
 - ・黒の筆記用具で記入して下さい。
 - ・回答は、() の部分 (回答欄) に記入して下さい。
 - ・回答欄に番号がある場合は、該当する番号を○で囲んで下さい。

問1 世帯でのあなたの個人番号を記入して下さい。 [] 番

問2 交通機関の利用状況についてお聞きします。

(1) 以下の交通機関をどのくらい利用していますか。

【記入例】月に3日程度の場合	① 鉄道は 1. 年に2回に 程度	② 路線バスは 1. 年に2回に 程度
③ 自動車は 1. 年に2回に 程度	④ 自転車は 1. 年に2回に 程度	⑤ 徒歩だけの外出は 1. 年に2回に 程度

(2) 通勤・通学されている方にお聞きします。通勤・通学時に利用している交通手段は何ですか。主な交通機関1つに○をして下さい。

1. 鉄道 2. 路線バス 3. 自動車 4. 自転車 5. 徒歩 6. その他

問3 転居の経緯についてお聞きします。

(1) 転居の経緯はありますか。

1. ある → 現在の場所についてお住まいですか。 昭和・平成 年 月から

2. ない → 理由をお進み下さい

(2) 現在の居住地の前にお住まいの場所はどこですか。

都道府県 市区町村

(3) (2)の場所では、以下の交通機関をどのくらい利用していましたか。

【記入例】月に3日程度の場合	① 鉄道は 1. 年に2回に 程度	② 路線バスは 1. 年に2回に 程度
③ 自動車は 1. 年に2回に 程度	④ 自転車は 1. 年に2回に 程度	⑤ 徒歩だけの外出は 1. 年に2回に 程度

(4) (2)の場所での住居の種類、建て方は何ですか。

① 住居の種類は (2) 建て方は

1. 持ち家 2. 賃貸住宅 (住宅、公務員住宅、高齢者などを含む) 1. 一戸建て 2. 集合住宅 (団地、学生マンションなどを含む)

(5) 転居する際に、複数の転居先を比べて、お選びになりましたか。あるいは、社宅への入居、家族の家への同居、相続した家への入居などで、転居先は決まっていますか。

1. 複数の転居先を比べて選んだ → 問4へお進み下さい

2. 転居先は決まっていた → 問4へお進み下さい

(6) 現在のお住まいを選び際に、以下の①～⑥をどの程度考慮しましたか。

① 中心市街地への行きやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
② 大規模ショッピングセンターへの行きやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
③ 駐車場の確保のしやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
④ 鉄道・バスの利用しやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
⑤ 徒歩や自転車の移動範囲で日散生活の用事が済む	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5
⑥ 自動車による移動のしやすさ	全く考慮しない 1	少し考慮する 2	どちらでもない 3	どちらか多い 4	ほとんど全部考慮する 5

参考：意識調査票 B票 うら

問9 自動車の運転免許の保有と自動車運転の状況についてお聞きします。

現在自動車運転免許をお持ちですか。

1. 持っていて運転している → **問9-1** → **問9-2** → **問9-3** → **これで終了です**

2. 持っているがほとんど運転しない → **問9-2** → **これで終了です**

3. 現在は持っているが過去に持っていた → **問9-3** → **これで終了です**

4. 一度も持ったことがない → **これで終了です**

問9-1 自動車運転免許をお持ちで運転している方にお聞きします。

(1) 今後も自動車の運転を継続しますか。

1. 運転を継続しない → **問9-2** → **問9-3** → **これで終了です**

2. どちらともいえない → **問9-2** → **問9-3** → **これで終了です**

3. 運転を継続する → **問9-3** → **これで終了です**

(2) (1)で「1.運転を継続しない」とお答えの方にうかがいます。

自動車の運転を継続しない理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内を○)

- 1. 自動車を利用する必要がなくなったから
- 2. 公共交通が便利だから
- 3. 自動車の維持費用が高いから
- 4. 自分の運転に自信がなくなったから

(3) 次の更新時期に運転免許を更新しますか。

- 1. 更新する
- 2. どちらともいえない
- 3. 更新しない

問9-2 自動車の運転免許を持っているが、ほとんど運転していない方にうかがいます。

(1) 運転しなくなったのはいつ頃ですか。 約 [] 年前 (1年未満の方は「0年前」とご記入下さい。)

(2) 運転しなくなった理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内を○)

- 1. 自動車を利用する必要がなくなったから
- 2. 公共交通が便利だから
- 3. 自動車の維持費用が高いから
- 4. 自分の運転に自信がなくなったから

(3) 運転しなくなったから移動はどのように変化しましたか。(当てはまるもの2つ以内を○)

- 1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している
- 2. 徒歩や自転車が出かけられる範囲で移動している
- 3. 家族に自動車で送迎してもらうようになった
- 4. 外出することになった

(4) 次の更新時期に運転免許を更新しますか。

- 1. 更新する
- 2. どちらともいえない
- 3. 更新しない

問9-3 過去に自動車運転免許を持っていて、現在持っていない方にうかがいます。

(1) 免許を持たなくなったのはいつ頃ですか。 約 [] 年前 (1年未満の方は「0年前」とご記入下さい。)

(2) 免許を持たなくなった理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内を○)

- 1. 自動車を利用する必要がなくなったから
- 2. 公共交通が便利だから
- 3. 自動車の維持費用が高いから
- 4. 自分の運転に自信がなくなったから
- 5. 免許取り消しになったから

(3) 免許を持たなくなったから移動はどのように変化しましたか。(当てはまるもの2つ以内を○)

- 1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している
- 2. 徒歩や自転車が出かけられる範囲で移動している
- 3. 家族に自動車で送迎してもらうようになった
- 4. 外出することになった

ご協力ありがとうございます

問6 中心市街地の活性化についてお聞きします。

(1) 最近、中心市街地の活力が低下している都市が多く、活性化を図るべきであるという意見があります。あなたがお住まいの市における中心市街地の活性化についてどのようにお考えになりますか。

- 1. 中心市街地を活性化させるべきである
- 2. 中心市街地を活性化させるべきとは思わない
- 3. 中心市街地を活性化させるために、どのようなことが重要だと思いますか。(あなたのお考えに近いもの1つを○)

- 1. 道路の拡幅・整備や駐車場整備を行って、自動車で中心市街地に行きやすくする
- 2. 歩行空間の整備を行って、中心市街地を歩きやすくする
- 3. 鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性を高め、公共交通で中心市街地に行きやすくする
- 4. 中心市街地活性化のための対策は特に必要ない

問7 通信販売や宅配サービス、インターネットを利用した買物（ネットショッピング）についてお聞きします。

(1) 通信販売や宅配サービスで品物を購入したことがありますか。

①テレショッピングやカタログショッピング

1. ある → どの程度利用していますか。 1. 年に2月に [] 回数程度

2. ない → どの程度利用していますか。 1. 年に2月に [] 回数程度

(2) ネットショッピングの利用についてお聞きします。

①ネットショッピングのサイトを閲覧したことがありますか。②ネットショッピングで品物を購入したことはありますか。

1. ある → どの程度利用していますか。 1. ある → どの程度利用していますか。 1. 年に2月に [] 回数程度

2. ない → どの程度利用していますか。 2. ない → どの程度利用していますか。 2. ない → どの程度利用していますか。 1. 年に2月に [] 回数程度

(3) 通信販売や宅配サービス、ネットショッピングでの購入や閲覧により、日常の買物はどのように変化しましたか。

- 1. このようなサービスを利用して、日常の買物に出かける回数は変わらなかった
- 2. このようなサービスを利用することにより、日常の買物に出かける回数はいくらも減った

問8 日常の外出についてお聞きします。

(1) 日常の生活で交通が不便などの理由から外出を控えていることはありますか。

1. 控えている → 外出を控えている理由は何ですか (当てはまるもの2つ以内を○)

2. 控えていない → 1. 公共交通の乗降時に段差が多い 2. 街なかの歩道に段差が多い

3. 目的地で直接行ける公共交通機関がない 4. 公共交通機関の運行本数が少ない

5. 家族の都合に合わせなければならぬ 6. その他

(2) 外出するときに次のようなものを利用しますか。

- 1. 杖 (つえ)
- 2. 手押しカート
- 3. シニアカー
- 4. 車いす
- 5. 特にご利用しない

(3) 徒歩や②の手段で休まずに移動できる距離はどの程度ですか。

- 1. 100m程度まで
- 2. 300m程度まで
- 3. 500m程度まで
- 4. 1km程度まで
- 5. 1.5km程度まで
- 6. 1.5km以上 → 【具体的には [] km程度】

(4) 自転車でもよいと思う距離はどの程度ですか。

- 1. 自転車は利用しない
- 2. 500m程度まで
- 3. 1km程度まで
- 4. 2km程度まで
- 5. 3km程度まで
- 6. 3km以上 → 【具体的には [] km程度】

お問い合わせ先

国土交通省 都市・地域整備局 都市計画課 都市交通調査室

TEL 03-5253-8111 (代表)

URL <http://www.mlit.go.jp/crd/tosiko/>